

リニューアルした
日本体育大学同窓会ホームページを
ぜひご覧ください!

NITTAI
ALUMNI

様々な業界で活躍する
日体同窓生を
ご紹介します。

NITTAI
TENPONAVI

同窓生が頑張る
店舗・小売店・飲食店などの
情報をご紹介します。

NITTAI-JIN

日本体育大学同窓会誌
「日體人」を
ご覧いただけます。



NITTAI
ALUMNI
NETWORK

ブロック別支部の
情報をご確認
いただけます。

CLUB
CIRCLE
ACTIVITIES

各クラブ・サークルの
活動をご確認
いただけます。

ホームページより登録会員情報の更新も可能です

登録会員情報変更の方法

1 同窓会HP右上の
お問い合わせをクリック



2 「住所変更届け」「新規会員登録※」「ご連絡の停止」
「お問い合わせ」のいずれかを選択し、情報を送信してください。
※会誌がお手元に届かない方は、「新規会員登録」へ



お問い合わせページへの
直接アクセスはこちら



日本体育大学同窓会

<https://www.nittai-club.com/>

検索



日本体育大学同窓会誌

日體人

NITTAI-JIN
2019 Autumn

Vol.8



日體人
NITTAI-JIN
2019 Autumn

Vol.8

日本体育大学同窓会誌「日體人」Vol.8 2019年9月1日発行 発行/日本体育大学同窓会
編集/広報戦略部門 TEL: 03-3704-0266 FAX: 03-3704-1817 URL: <https://www.nittai-club.com/>

制作協力/株式会社アスキー

- 02 さらなる挑戦 松浪 健四郎
- 04 大学の挑戦と同窓会活動 今村 裕
- 05 日体大の「現在」 具志堅 幸司
- 06 令和の時代に相応しい
同窓会づくりをめざして 瀧澤 康二
- 07 平成30年度報告
- 12 特集 チャレンジトーク 松井幸嗣×宮崎大輔×川上勝太
いざ決行! 日体大再生
- 18 令和元年度重点事業
- 20 同窓会誌発行協力金について

さらなる挑戦

MORE CHALLENGES

Vision
I

学校法人 日本体育大学
理事長

松浪 健四郎

はじめに

6月初旬を迎えてキャンパスに和歌山県みなべ町が植えてくださった数本の「南高梅」から、青々とした大きな梅を収穫する。毎年、女性職員が梅干しを作ってくれるが、その量はバケツ2杯に達する。オリーブの樹々も花をつけ、秋には実をたわわにつけてくれる。

こんな日常のキャンパスで仕事をさせていただいて、この伝統を誇る日本体育大学をどの方向に導くかを考える日々である。まず、個性的な大学でなければならない。次に時代が求める人材育成の大学でなければならない。そして大黒柱である教員養成に全力投球せねばならない。くわえて、卒業生の皆さんが誇りにしていただける大学にし、受験生が少子化の波にも負けず増加するように策を講じねばならない。つまり、魅力作りである。

理事長に就任して丸8年が経った。諸々の挑戦をさせていただいたが、今、何を考え、何をしようとしているかを記述させていただく。

優秀な学生たち

俗に偏差値と呼ばれるが、その数値が70を超える新入生たちが、毎年、嬉しいことに入学してくれる。この優秀な学生たちに失望させてはならないし、大きな目標を達成できるようなプログラム、サービスが必要になった。

上級国家公務員等の試験に合格し、法律を作る側に回っていただき、日本の体育・スポーツ界をより魅力的に改革し、国民の長寿化社会を支えていただきたい。私は、

かつて武道とダンスを中学校の必須に改めさせた経験があるが、それほど難しい問題ではなかった。

学問分野も細分化され、学際的な研究が深化されているが、研究者の育成も日体大にとっては焦眉の急である。いかに学究を作るか、グローバル化された社会の中で活躍してくれる人材を輩出することも重要であろう。

すでに日体大は大学院は3研究科をもち、いずれも博士課程後期まで整備している。多くの優れた“博士”を一人でも多く輩出したいと思う。

研究力の日体へ

昨年、文部科学省の科学研究費(科研費)を要求、請求した研究機関は1150(大学及び各研究機関)であった。日体大は283位、体育・スポーツ科学部門では8位、採択率は30位という成績。研究力がアップし、優秀な人材が日体大にいる証明となろうか。

保健医療学部を置くことにより医師免許もつ研究者が数多くいる。この研究者たちの活躍も大きい。他学部の研究者たちも相当な刺激を受け、相乗効果をもたらしている。研究力のある教員でなければ、講義を聴く学生たちも学問に興味を示さない。授業は、おもしろい、楽しいものでなければ動機づけは難しい。力ある教授陣が揃いつつある現実を嬉しく感じているが、力の発揮はこれからであろう。

大学は「学問の府」「研究の府」「教育の府」である原点を忘れず、金のワラジを履いてでも広く人材を求める姿勢を保つ

べきである。人材の宝庫づくりのために前進させたい。

医療系への傾注

100歳まで生きる時代を迎えた。政府は、そのための政策を打ち出し、国民に元気に活躍して欲しいと願いつつ、医療費の支出削減を目指す。平均寿命に健康寿命を近づけるべく、策をめぐらせる日本政府。

東京五輪・パラリンピックのレガシーは、健康寿命の延伸と障害者の共生社会の構築である。先進国家として、他国のモデルになる社会を作り、人類社会初の長寿健康の国民の住む日本にせねばならない。そのために、日体大がいかに行動して存在感を示し得るか、積極的に考えねばならない。布石として、保健医療学部を設置し、北海道には附属支援高校を開校させた。また学内にクリニックも設けた。

高齢化社会に対応する日体大、医療と体操等がコラボして独自の健康増進策を研究、国民に提供する義務がある。スポーツ分野だけの発展だけでは、大学の将来は期待でき得ず、医療系にも大きくウイングを広げたい。

1万人の学生たち

現在の日体大の学生数は7200人である。スポーツマネジメント学部が完成年度を迎えても、大規模大学といわれる8000人に達しない。少子化時代に突入して、定員を割る大学は4割もあり、数年後には多くの大学は廃校に追い込まれる。日体大はその仲間入りをしないためには、大規模大学へと脱皮せねばならない。学生数1万

人の「身体にまつわる文化と科学の総合大学」にしたいと考えている。

長寿社会は「健康」がキーワード、日体大の存在感が日増しに高まるばかりか、このチャンスを逃すことなく大学の発展につなげたい。ただ、全寮制で同じ釜のメシを食う日体大の伝統は、崩れざるを得ない。が、授業で「エッサッサ」「集団行動」「荏原体育」をきっちり指導しているので、日体大卒の資格を与えることができると思う。

世界の日体大にするには、少子化を恐れず、大学発展のために挑戦を続けることだと認識している。

地方との連携

地方再生・創生に日体大は貢献する。すでに70の自治体と協定を締結、「子供たちに夢を、お年寄りに健康を!」キャッチフレーズにして、日体大であるからこそできる協力を各自治体に様々なプログラムを提供することによって行ってきた。この効果は、地方の受験者数の増加にもみられ、子供たちが日体大を知ることにより、少子化であっても日体大を目指してくれようか。

全国の同窓生の皆さんの協力を得ながら、地方との連携事業を続け、地方自治体を元気にしたいと考える。すでに北海道から沖縄までを網羅し、地方紙やテレビで紹介されてきた。その宣伝効果も大きく、日体大の存在感は高まるばかりであろう。

大学間の競争も激化する今日、生き残

るためには、大学の魅力作りと存在感である。多くのメダリストを輩出してきた強味、それを有効に用いて地方に役立て、新しい日体大をアピールしたいと考える。

健志台の再開発

新法によって東京特別23区内では、大学は定員増も新設学部・学科の設置が認められなくなった。つまり、世田谷キャンパスは、そのまま。横浜市青葉区の健志台キャンパスをいかに活用するかに、大学の今後がかかっている。すでに1万人の大学にしたいという願望をもっていると記述したとおり、新学部の設置は健志台の古くなった施設を新しくすると同時に行う必要がある。

「身体にまつわる文化と科学の総合大学」を標榜するかぎり、体育大学であるかぎり、その範疇の学部をオール日体大で考えたい。時代は長寿社会、そして外国人労働者の増加による社会不安、これらを十分に勘案して社会ニーズに応える人材育成を行う。

大学の質の低下、競技力の弱化、そんな心配をさせることなく、スケールメリットを生かして日体大の伝統を継承する。他大学の追随を許さない個性的な日体大を創りたいと考えている。

まとめ

卒業生の皆さんには、ぜひ一度、母校日



松浪健四郎理事長

体大を訪問していただきたいと強く希望します。学生たちの心もちは昔のままであろうが、キャンパスは一新されている。校名もニホン・タイイク・ダイガクではなく、「ニッポン・タイイク・ダイガク」と定められ、シンボルマスコットはライオンと決まっている。

近代的な施設にとどまらず、競技力だけに拘泥することなく、学問の府として我が国を代表する体育大学としての威容を誇っている。同窓の皆さんが、全国各地で真摯に活躍していただいた歴史が、現在の日体大の姿である。まもなく創立130周年を迎えるが、その伝統を生かし、より魅力的な大学へと発展させねばならないと認識している。

理事長に就任して丸8年、まだまだ挑戦したい事柄が多くあるにつけ、健康に留意して皆さんのご期待に応えたいと思います。日体大の飛躍は、これからが始まりです。



かつて運動会に昭和天皇のご親臨の栄を賜った来歴がある本学も来年の東京五輪・パラリンピックの年には創立129年目を迎えることとなります。この東京オリパラに向けて最も大きな期待を寄せられている大学であることは勿論ですが、それだけではなく70の自治体と連携し、体育・スポーツを通じて地域の発展振興に寄与し、平和と安定の礎になるための貢献も現在本学が取り組んでいる最も重要な事業となっております。

またアジア最古の体育大学の使命

業界をはじめ社会に貢献するトップランナーであり続ける使命をもつ組織であることを念頭に置いて努力していかなければなりません。大学は、社会が必要とする人材を常に追求し、そのための調査、研究をし、優秀な人

材を輩出する役目を背負っており、社会にとって世の中の先導者という側



自治体連携協定推進事業における水泳教室の様子

体大でさえも全国からの学生獲得は課題となっております。実は、この事業

本学はこれまで、建学の精神(『體育富強之基』)の具現化に向け、教育研究体制の整備を弛みなく進めてきました。現在は、5学部9学科、3研究科4専攻を擁し、そのアイデンティティである、『体育・身体活動・スポーツを通じた健康で豊かな社会・人づくりの実現』のため、体育スポーツ学はもとより、教育学、保健医療学の各分野にまで、その裾野を拡大・深化させています。

こうした学士課程、大学院課程の充実、同時に日体大のフィールドが地球上のあらゆる場所と人々に拓か

健やかな生涯を設計・支援したり、あるいは、地球規模の思考と地域視点の行動、いわゆる「グローバルな発想」に基づき、活力に満ちた国際社会・地域社会の創生・構築に携わるなど、本学学生、卒業生がその活躍を期待されるシーンは実に多様性に富んでいるからです。

実際、中高保健体育教諭、養護教諭、特別支援学校教諭、小学校教諭、幼稚園教諭など、これまでの本学の伝統、強みである「教職」を柱に据えながらも、近年は、企業・公務員就

材の育成を今後一層、心がけていきたいと考えます。

例えば、救急救命士の資格を有した客室乗務員、ホテルマンなどが保健医療学部から羽ばたいてくれることを、また、新たに設置されたスポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部では、教員免許の取得を第一義としない教育課程の在り方、あるいはそうした履修モデルの提示を今後、検討したいと考えています。そして、これらの学生たちには、国際競技団体やスポーツビジネスの世界で活躍する人

UNIVERSITY CHALLENGES AND ALUMNI ACTIVITIES

大学の挑戦と同窓会活動



学校法人日本体育大学
常務理事

今村 裕



として大学法人としては初めての特別支援学校を設置いたしました。共生社会の実現に向け、私どもがやらなくてはいけない教育分野と捉え、今、最も力を入れております。オリンピック・パラリンピックで結果を残すことだけに留まらず、本学のブランド力と全国で活躍する卒業生のネットワークで地域が元気になるよう貢献していく、この積み重ねがやがて同窓生の掘り起しと母校への愛着へと結び付いていくものと確信しております。

大学は、言うまでもなく、教育界、実

面をもっております。今後、さらに社会で必要とされる人材を養成するための取り組みを含め海外からの教員や留学生の積極的な受け入れも活発にしていかなければなりません。

連携協定により日体大を訪れた中学生、高校生がゲストハウスに泊まり、オリンピックとの交流を深めることにより「将来は日体大に入りたい」と感想を寄せてくれています。現在、地域によっては、日体大の同窓会がメンバー不足で数年後には同窓会がなくなってしまうのではないかと危惧されるぐらい、日

により確実に全国からの受験者が増加してきております。大学としても、今後、このことに危機感を持って取り組んでいかなければならないと、考えており、正に、この事業が思わぬ波及効果をもたらしてくれております。

日体大は、世界に向けて発信し、ネットワークを築いていかなければなりません。日体大生は、世界に羽ばたく、社会に貢献できる人材として、時に繊細で、時に大胆で、常に前向きに次の時代に向けて挑戦と進化を続けていかなければなりません。

TODAY'S NSSU

日体大の「現在」



日本体育大学
学長

具志堅 幸司



れていること教えてください。例えば、乳幼児から学童、青年や成人、さらには高齢者まで、人の一生に寄り添い、

職者が7割近くこれまでのほり、あらゆる職域で卒業生の元気な姿を見かけることができます。

それぞれの学部や学科の特長を色濃く映し出すことのできる職域に、一定数の学生を送り出していくことはもとより、「日体大の学生なら学部を問わず、是非、採用したい」と、企業に言わしめる人

材として、巣立ってもらうことを大いに期待するところです。

体育スポーツ学はもとより、教育学、保健医療学、さらには、経済学や国際学などの分野に強い興味や関心を抱いている中高生たちにも日体大の魅力が伝わるよう、努めてまいります。

わたしたちは、これまでの本学の強み(確かな伝統)を継承しつつ、果敢に新たなチャレンジに臨みます。なにとぞ、「日体大の「現在」」にご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



スポーツ実践指導法・陸上競技にて、指導法や説明・表現方法などを学修する様子

令和の時代に相応しい 同窓会づくりをめざして

AIMING TO CREATE
A REUNION APPROPRIATE
FOR THE REIWA



Vision IV 日本体育大学同窓会
会長

瀧澤 康二

母校の発展は、同窓会の大きな誇り!

会員の皆さんには、平素より本会の活動にご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。また、法人、母校、そして保護者会の皆様方にも同窓会を温かく見守って頂いています。改めて深く感謝申し上げます。

平成26年6月に会長を拝命してから任期までの残り1年で令和の新しい時代を迎えることになりました。会長としての立場で平成の5年間を振り返り、新しい時代へとスムーズに襷をつなぎたく存じます。

母校の発展は、同窓会の大きな誇りです。その同窓会が真に母校の発展に寄与するためには自らが活き返らなければなりません。

平成28年度に準会員制度が設けられ、本年、完成年度を迎えました。今後、この制度が同窓会の益々の活性化に重要な役割を果たしてくれるものと確信しています。その意味におきましても、この制度設置にご理解を頂いた母校、並びに保護者会に重ねて感謝申し上げます。

母校愛(本能)を甦らせ、更なる支援を!

昨年(平成30年)度は、雪の舞う青森の地で地元のご協力を頂き「全国女性代表者会議」を実施しました。引き続き、本年度は11月2日(日体フェスティバル時)に母校のご協力のもと「民

間・企業人全国大会」を予定しています。これらの同窓会事業は、母校の発展に寄与するための手段でありますことを改めて強調しておきたい存じます。

令和の時代は、母校を含めて何もかもアツと驚くほど急速に進化していくことが容易に予想されます。その牽引力が東京オリ・パラ大会です。もう目の前です。何が変わるのでしょうか?この世紀の大イベント「オリ・パラ大会」は、人の価値観までも変えてしまうほどの力をもつ魔物的存在です。

「東京オリ・パラ大会1964」の時は、私は学生(4年次)でした。学生総出で大会成功に向け、お手伝いしたことを懐かしく思い出します。当時、わが国では「ボランティア」ということばは、今のよう一般的には使われていませんで

した。もちろん、スポーツということばの意味すら曖昧で「スポーツとは何か?」と、ようやく学問の対象になったばかりの時代でした。

そして今、私たちは「スポーツは文化である」と認識しています。私たちのスポーツに対する価値観が大きく変わりました。今度のオリ・パラ大会は、私たちのスポーツに対する考え方を更に変えてしまうことでしょう。それは、スポーツが『別世界を体験する「あそび」』の意味をもつからです。スポーツを専らとする母校は、変化する社会に対応すべくチャレンジし続けています。

日本体育大学を母校とする私たちは、母校愛(本能)を甦らせ、母校の支援に努めていこうではありませんか。皆様のご理解とご協力をお願いします。

同窓会活動の年次推移

項目	年									
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
国際イベント	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	
周年	123	124	125	126	127	128	129	130	131	
日体フェスティバル	世田谷	鎌倉台	世田谷	鎌倉台	世田谷	鎌倉台				
体育研究発表大会	茨/栃/群	東京	茨/和	東京	青/秋	東京				
活性化推進基本計画	<ul style="list-style-type: none"> マナーシメント研究会 水産部×和楽器クラブ 女子活性化研究会 マーカーティング講座 プロジェクト黎明 セカンドステージへ 									
学生支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 採用試験対策 教育実習指導等 男女協働による活性化 女性の参加促進等 ネットワークの拡大 民間・企業人全国大会 業人会の再生等 東京2020関連事業の支援 									
ブロック再編(7ブロック化)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会との連携等 広報活動の強化 HP/SNS/会誌「日體人」 東京2020関連等 支部運営・事業の充実 活動への支援強化 母校創立130周年の慶祝 その他(金剛の改正等) 									
体育学部	62期	63期	64期	65期	66期	67期	68期	69期	70期	
児童福祉学部	2年	3年	4年	1期	2期	3期	4期	5期	6期	
保健医療学部	1年	2年	3年	4年	1期	2期	3期	4期	5期	
文化学部	—	—	—	1年	2年	3年	4年	1期	2期	
経済学部	—	—	—	—	1年	2年	3年	4年	1期	

学部新設・学生のキャリア多様性 会員の職業多様性 ライフステージや分野・領域に応じた支援

Nittai Alumniのロゴを作りました!

このたび、日本体育大学同窓会(Nittai Alumni)は、オリジナルロゴを制作しました。そこで、今回、同窓生である、イラストレーターの森 達也氏に、制作コンセプトやデザインに込めた想いを伺いましたので、ご紹介いたします。

Nittai Alumni マスコット



コンセプト

日体大のシンボルマスコット(天空の月に向かって咆哮する獅子)を優しくも強く見守っている姿を形にしました。卒業生(同窓会員)の日体大を思う強さや愛を感じて頂ければ幸いです。ピンクのラインは桜を表現。外側の青い円は月と太陽、エッサの拳を突き上げる様子を表現しました。

Nittai Alumni エンブレム



コンセプト

かねてよりあった「同窓会のシンボルマーク(體大・桜)」と今回デザインした「Nittai Alumniマスコット」を組み合わせたデザインです。リボン部分は荒波も表現しており、それをかき分ける同窓会を表現しています。二対の獅子は日体大と卒業生を見守るという意味合いで配置しており、全体として皆様の繁栄を願う気持ちを込めたデザインとなっています。

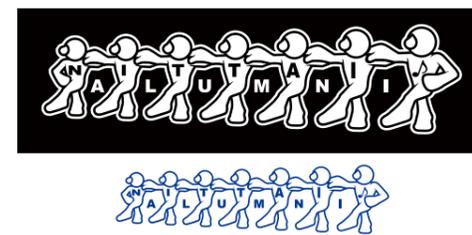
エッサキャラクター



コンセプト

日体大独自の応援スタイル「エッサッサ」。これは、私が大学卒業後に同期メンバーと「卒業したけど日体アイテムが欲しい」という話の中から生まれたデザインです。私たちの思いに共感してくれた卒業生や在校生等が徐々に増えていき、知る人ぞ知る隠れキャラクターでもありました。今回、デザインの依頼があった際に「このデザインを同窓会で生かし続けてもらえませんか」と相談したところ快く承認して頂き、この度同窓会公認キャラクターになりました。見たことがある方もいるかもしれませんが、思い入れの詰まったキャラクターでもあるので、これからも多くの方々に愛されて欲しいと願っています。

荏原体育キャラクター



コンセプト

エッサキャラクターに合わせてデザインしました。以前より「荏原体育キャラクターもデザインして欲しい」との声もあったので、このような形でデザインをすることが出来て大変嬉しく思います。正直、動機的には単調で肩を組んでいる動きのためエッサのようにコマ送りに出来ずデザインの仕方は悩みましたが、文字を組み込む事で荏原体育のリズム感を表現しました。

※使用ガイドラインについては同窓会事務局までお問い合わせください(03-3704-0266)

イラストレーター紹介 森 達也 もり たつや

平成14年日本体育大学体育学部卒業。卒業後は野望を抱き路上似顔絵師となる。数年後、俳優ショー・コスギの弟子となりアクション俳優兼アクション振付師にもなる。師匠につけてもらった『ディビッド森』の名でCMや映画などで活動。平成29年に19年過ごした関東から地元の愛媛県今治市に拠点を移す。現在は有名TV番組の挿絵やアーティストのキャラクターデザイン、舞台衣装イラスト、似顔絵、企業ロゴデザインを中心に活動。現在、講演活動も行う。「いつか日体大に関わり、恩返しをしたい」という思いがこの度叶った形となる。

全国女性代表者会議 in 青森2018

平成30年11月30日(金)、12月1日(土)、青森県弘前市にて、全国都道府県支部の女性代表者および関係者が一堂に会し、同窓会活動への女性参加促進に向けて、今後あるべき姿を共有するとともに、同窓会の活性化につなげるための記念すべき第一歩として開催されました。

2日間にわたる全体会では、多様な意見交換を経て、同窓会が抱えている課題が少しずつ浮き彫りになり、本部より提案したNittai Alumni「さくら宣言(別称:青森宣言)」*の決議・採択に向けて有意義な会となりました。

当日は、学校法人日本体育大学より今村 裕常務理事に記念講演をいただき、また、青森県同窓会より春藤英徳会長、元同窓会本部役員の千葉吟子先生をはじめ、長年同窓会にご尽力いただいた方々に来賓としてご臨席いただきました。

初日の全体会後は交流親睦会を行い、普段なかなか顔を合わせる事のない支部会員相互の交流の場となり、出合いや再会に大いに盛り上がりました。

2日目の記念総会では、宣言文の提案、決議・採択が試みられましたが、多様な意見や活発な議論があり、誰もが

受け入れやすいシンプルな表現を求める声が多かったことから、修正し、再提案することになりました。事後アンケートの結果を分析・考察し、宣言文(修正案)に反映させ、メール等で再提案、意見聴取をし、3月中旬にさくら宣言が確定、全国都道府県支部に周知したところです。

同窓会本部としては、参加者の多様な意見に直接触れ、改めて再考出来たことが成果と受け止めています。今後、本会で取り上げられたさまざまな課題を整理し、一つひとつ丁寧に対応してまいります。

※Nittai Alumni「さくら宣言(別称:青森宣言)」とは

日体大同窓生の今後あるべき姿を共有するための指針となる宣言文。予め同窓会本部が提案した宣言文(案)を、全国50支部(47都道府県+北海道3支部)に対して実施した事前アンケートに盛り込み、意見聴取し、2日目の記念総会で宣言文を決議・採択するプログラムであった。後日、確定(表明)した宣言文には支部で実現出来そうな取組例もそれぞれ抽出した。また、今回の開催地・青森が思い出の地として記憶に残るよう「青森宣言」を別称として用いることとした。

記念講演



親睦会



Nittai Alumni「さくら宣言(別称:青森宣言)」

・私たちは、歴史と伝統ある日体大同窓生として、母校と社会の発展に寄与します。

取組例

各種イベント協力(周年事業、競技大会等)、災害ボランティア活動の支援、自治体協定への協力、学生支援の充実(教員採用試験対策等)、教育実習の指導支援 など

・私たちは、日体大同窓生であることに誇りを持ち、仲間や後輩との絆を深めます。

取組例

支部活動の充実(総会・研修会・親睦会等)、県人会再生、保護者会との連携、支部活動の取組や大会等の応援・SNS発信、教職・公務員・企業人等のネットワークづくり など

・私たち日体大同窓生は、団結和協を合言葉に、真の男女共同参画を目指します。

取組例

支部事業や組織運営における男女の協働、女性会員の参加促進(支部総会・研修会・親睦会、ブロック会議等)、女性ならではの視点・発想を生かした事業企画 など

記念総会



第56回 体育研究発表 実演会

青森県大会、秋田県大会を 2日にわたり開催しました!

「共生から心ひとつに」をテーマに掲げ、平成30年度「日本体育大学体育研究発表実演会地方大会」が、12月1日(土)に青森県武道館(青森県弘前市)、2日(日)にナイスアリーナ(秋田県由利本荘市)で開催されました。両会場とも超満員の観衆が見守るなか、学生達による日頃の成果が披露されました。また、新たに「集団体操」が演目に加わり、小・中学校の体育の授業や体育祭等で扱える演技が実演されました。

プログラム

- 開催の挨拶
- 1.チアリーダー
- 2.アルティメット
- 3.和太鼓演奏
- 4.少林寺拳法
- 5.空手
- 6.剣道[抜刀術]
- 7.トランポリン
- 8.救急医療
- 9.新体操
- 10.体操競技
- 11.集団体操
- 12.ダンス
- 13.エッサッサ



集団体操



剣道[抜刀術]



和太鼓演奏



トランポリン



チアリーダー



エッサッサ



アルティメット



体操競技



ダンス



救急医療



新体操



空手



少林寺拳法



レジェンドとルーキーの化学反応。考え抜かれた
キャスティング&マッチングでチームを常勝へと導く。

いざ決行！ 日体大再生

[特集] チャレンジトーク
Challenge TALK

副学長・ハンドボール部監督 松井幸嗣 × 兼任コーチ 宮崎大輔 × 主将 川上勝太

聞き手：塩谷和雄 日本体育大学同窓会 幹事長

37歳で再入学 東京五輪への熱い想い

— 今号は特別企画として、日体大ハンドボール部松井幸嗣監督、そして来年に迫る東京五輪をめざす同部の宮崎大輔さん(3年)をお迎えし、また現在同部主将の川上勝太さん(4年)は教育実習で沖縄の母校におり、先日お話を伺ってまいりました。まず宮崎さんから、再入学して2カ月半ほどですが、学生生活はいかがですか。

宮崎 15年ぶりの学生生活ですが、先生方にいろいろと教えていただくことで、自分なりに再確認でき、自分なりに活かせる部分が多いと思います。

— そうですね。最初の入学時とは、また違った視点でいろいろと学べ、実践に活かせるんだと思います。今回、宮崎さんのようなトップアスリートが37歳で再入学というのは極めて異例ですが、学生たちにとっていい刺激だと思います。宮崎さんを迎える松井監督はいかがでしたか。

松井 私は29年間の指導の後、ここ3年ほど大学業務に専念しておりました。そしてこの春、監督として現場に戻ってきたわけですが、この3年間は残念ながら結果を出せておらず、なんとか結果を出さなければと思っていた矢先に、宮崎君が再入学ということで、いい流れになるなと思いました。その結果、初戦ではほんとにいい結果を出

し、春季リーグに入れたと思っています。

— ところで宮崎さん、ハンドボールとの出会いとは、どのようなものだったでしょう。

宮崎 ハンドボールをやっていた姉の影響で、小学校3年生の頃、始めました。中学1年生のとき、一度辞め、2年生になる前に復帰しています。いったんバスケットボールにハマったのですが、あまり私には向いてなかったですね(笑)。高校時代も一度ハンドボールを辞めようと思いましたが、そのときも松井先生に助けられて、それがなかったらおそらく大学に行かず左官工事をやっていたと思います。

— 一番打ち込んで来たのは、やはり高校時代ですか。

宮崎 高校時代はやらされているという感じでしたが、大学に入ると、自分の意識、考えを入れて、目標の設定などができるようになり、海外へも2年間留学できましたし、かなり打ち込めた。松井先生も海外に出られたり、五輪に出られたり、世界を知っていらっやる。僕にとっても違った環境でやらせてもらい、いい経験になりました。

個の力を重視するとともに 結束力あるチームへ

— 他のスポーツでも37、38歳の方はいますが、とりわけハンドボールで現役で戦われているのは、本当に励みになります。社会人では大崎電気に入りましたが、実業団での様子を聞かせていただけますか。

宮崎 初年度は大崎電気で、初優勝しました。そして五輪予選、代表でもその1点の重みを感じました。もっと個を鍛えなければいけないと思い、もう一度スペインリーグに1年間行きました。大崎電気でのプレーは計15年間。若いときの方が、体も動きまわし、自由にできていたんですが、30過ぎるとなかなか大変です(笑)。

— スペインのアルコベンダスに行かれましたが、スペインでの生活について、お話を聞きたいと思います。

宮崎 向こうに行っていたのは1年でしたが、最初はパスが回ってこないだろうなと。そこで、どうコミュニケーションをとるか。よくチームメイトを昼食に誘っていましたね。1対1だと、どうしても話さなければならないですから。また、家に誘ってみたりだとか、ハンドボール以外のことで接する機会をつくっていました。



DAISUKE MIYAZAKI

PROFILE

大分県出身。大崎電気で15シーズンプレーした後、日本体育大学に再入学。現在、体育学部3年。男子ハンドボール部兼任コーチ。

— スペインでつかんだものは何でしょうか。

宮崎 個人の役割をどう果たすかだと思います。当時、選手からも監督からも「お前何をしているの」と指摘されました。自分のフォーメーションの説明をしたら「だったらお前は要らない。大輔はスピードとジャンプ力があるから、そのプレーをしてくれ。その動きがあってこそ相手チームは内に寄ってそこでようやくパスをする。それがあるからこそお前のプレーが活きる。でないとお前の身長ではチームとして、お前をとらない」と。あとは積極性、遠慮気味だと置いていかれます。僕は積極的だったのでよかったんですけど。

松井 結局、いかに選手が積極的に動かかだと思っんですよ。私の現役時代、当時の監督が言うには「指示待ち選手はだめなんだ。指示を与えられないと動けない選手は必要ない。自分から積極的に動け」と。

— 松井監督復帰、宮崎大輔さん再入学、1年生ルーキーの加入と新たな展開ですが、これによってチームにどんな変化が見られましたか。

松井 やはり学生は、見てもらうことが必要なんだと思います。私は現場で特に何も言わなくてもいいわけですよ。彼らは見てもらうことに慣れていたと感じましたね。

— 今回、松井監督が戻られて、宮崎さんが再入学。その点について川上さんに聞いたところ、4年生の結束、そして4年生がきちっと宮崎さんとコミュニケーションをと

るという姿勢、これが大事だと言っているのがとても印象的でした。

松井 やはり強いチームというのは、4年生がしっかりしています。特に主将がね。大輔がこの4月から再入学し、真剣に取り組もうとしている姿を見てチーム全体が勢いついているなど感じました。とてもいい雰囲気です。同時に、やはり日体大のハンドボールはとにかく走らなければいけないと常々選手たちに話していますから、そのためにきちんと体をつくらなければいけないということで、いわゆる食育に取り組みました。また、食べることに加え、4月からは大輔が来て、トレーニングのことも意識づけが強化されています。

— 先日、練習にお伺いしたら、食育担当の方の支えもあり、選手はバランスの良い食事をされていました。食育に本格的に取り組まれた理由は何でしょうか。

松井 ただ走るだけでも優勝は可能かもしれませんが、ハンドボールは30分ハーフでさまざまなコンタクトが出てきます。だからこそコンタクトされても後半30分プレーし続けられる体づくりを特に意識し、食事から見直すことで成果を得られつつあります。

強い日体大 予兆が確かなものに

— さて、2019年春季リーグ戦の具体的なお話に移りたいと思います。宮崎さんは復帰の第一戦ということで、どんな印象を

持たれましたか。読者の方も非常に興味をお持ちだと思います。

宮崎 最近では、一番緊張しましたね。これまで世界選手権、アジア大会などいろいろ経験はしてきましたが、そういった場にはない緊張がありました。私は年齢が上ですし、ほかの選手が察してくれてたのか、いろいろと気を回してくれていると感じました。練習のときから、「走るハンドボール」を目指し、初戦で改めて走ることに大きさを再認識できました。

— 三郷で行われた事実上の決勝戦となった筑波大との一戦ですが、凄い試合でしたね。私も応援に伺いましたが、残り4、5分になったところで日体大がマンツーマンに出ました。最終的には25対25から1点差になり、惜しくも25対26で敗れましたが、監督としてはどのようなゲーム配を考えられていましたか。

松井 監督として、全体のゲームの流れを常に考えなければいけないわけです。あの時点でマンツーマンを仕掛けなければおそらく逆転はできない。1点差でも勝たなければいけない。だからこそ私はここでマンツーマンを仕掛ければ、相手の攻撃を止められると判断しました。それが、うまくハマったわけですね。

— 全勝優勝が目標だったと思いますが、最終的にはライバル筑波大に1点差。特に宮崎さんのノーマークシュート、あの瞬間の会場内のどよめき。もちろん味方と相手

では反応は違いますが、とりわけあの1点は喜びもショックも大きいですね。あのときの心境をお聞きしたいと思っていました。

宮崎 今、松井先生も言われた試合の流れをつくりたかったですね。中盤から入って、もっともっと流れをつくってあげれば、試合も変わっていたと思います。

— 初戦の中央大戦、新人の安平光佑(やすひらこうすけ)・窪田礼央(くぼたれお)両選手を起用されました。監督、あのときはどのようなご判断だったのでしょうか。

松井 流れ的には悪くなかったですね。1年生の2人と大輔、この3人を出したのはチームにとってもいい流れになると感じていました。

— 激しいコンタクトプレーを続ける中で走る。監督としてはこれから秋季リーグ、インカレもありますが、フィジカル面でどのような強化をお考えですか。

松井 やはり速攻を出すためには、1対1のディフェンスの強化が必要です。得点することは、皆好きなんです。だからこそ当たっていくこと、これが大事です。

— 一方、宮崎さん、これから夏を乗り越えていくわけですが、どのようにお考えですか。

宮崎 フィジカルは今日、明日すぐに身につくというものではないですから、一人ひとりが、何が足りないか、何をやって、どう強化するかを意識していくことですね。松井先生が求めているのは日本選手権で決勝に出ること。実業団選手相手に戦うことを目標とされているので、その目標に向かって意識することでしょう。実業団と戦うとなると、フィジカル面の強さもさらに必要になってきますからね。

— さて、主将の川上さんは興南高校のときに選抜、インターハイ、国体と三冠を達成。その後、富山県立氷見高校も同じく三冠を達成しています。今年、その氷見高校のコンビが日体大に入学しました。

松井 今年の1年生の場合、他大学を含め粒揃いです。安平君は実は小学校5、6年のとき、日体大ハンドボール部の夏合宿を見に来ているんですね。いろいろ調べたら、小学校のとき、すでにマンツーマンされるほどの力を持っている。「走るハンドボール」に関して彼は興味があったようです。

— 私も、これまで全中、インターハイと観

てきましたが、各世代で活躍した選手が、各大学に散らばっているという状況を見て混戦模様と感じました。ここから日体大が抜け出すとなると、フィジカル面、メンタル面で相当な強化が必要になりますね。

松井 やはり川上君も言っていますが、チームとしてひとつにまとまること。そして、苦しい場面を想定してふだんから練習を積んでいること。つまり、苦しいときに声を出して頑張れということ。そういうメンタルの強さが必要になってくるでしょう。

— 一方でキャリア豊かな宮崎さんとしては、これまでの経験から、彼らにどのようなメンタル面の補強が必要と考えていますか。

宮崎 松井先生がよく言っているんですが、最初の30分は誰でもできる。そこからどんどん苦しくなって後半30分で本来のプレー、走力などに差が出ると思います。その場面での環境や気持ちなどを覚えておく、試合になってくるとそういう場面は絶対訪れてくるので、そこを乗り越えることを皆が一致して考えていけば、いい結果につながると思います。

コミュニケーションUPで チーム力強化へ

— 監督の考えを浸透させるために、どういう手だてを考えているか、川上さんに聞いたところ、不満を溜めないように、とにかくコミュニケーションを保つように心がけているとのこと。寮に居るときから、そういった姿勢を持っているようです。もちろん上下関係、けじめは大切ですけど、しっかり話し合うということを大切にしようとしていますね。

松井 今の学生はきちんと話さないといけないです。「わからないことがあれば、遠慮せずに来いよ」と言うと、皆聞きに来ますよ。先日もスタッフミーティングを行って、再確認をしたところ。

— 川上さんに自己評価点を尋ねたところ、100点満点でまだ60点まではいかないかなと。自分に得点をつけられるのは、コミュニケーション面。部員が多いですからうなずけますね。逆に足りない部分は、チームが不安定なところ。どうしても調子に波が出てくる。では、一番の強みは何かと聞いたところ、凹まないところと言っていましたね。

松井 川上君は、リーダーシップをとれる人間です。彼とはよく話をしますし、私の言ったことを部員に伝えようと努力しています。逆に全部を一人で抱え込まないで、副主将が

二人いるので、彼らができることは任せせてみてはどうかと言っています。

— 先ほど、中央大戦のお話が出ましたが、選手交代、言わばキャスティングとマッチングについてはどのようなお考えでしょうか。

松井 試合に勝つためにやっているわけですが、同時にこれは教育の一環でもあり、56名の部員がいる訳です。なるべく皆にユニフォームを着させてやりたい、という気持ちは十分あるんですよ。メンバー16人いますから、大体11～12人ぐらいで試合は戦えます。残りは4年生を中心に、いい状態のときにしようと考えています。

— 宮崎さんは、ベンチに入っているときどのような気持ちでいますか。

宮崎 ベンチにいるときは客観的に見られますからね。声を出し、次に、試合に入っていくとき、どういう動きをするかをイメージしています。

— ベンチの力がチームを勝利に導くと言われますよね。皆さんの結束というの、チームにとって大切ですね。先日、何を一番重視するかを川上さんに聞いたところ「とにかくシンプル、守って走る、わかりやすいハンドボールをしたい」と言っていました。同時に所詮、「個」だと。ゲーム中に難局に直面したとき、まずは自分がどう切り抜けるかだと言っていたのが印象的でした。さて、宮崎さんは入学前の3月に行われた日本リーグ第43回大会のプレーオフで一区切りとなったわけですが、大崎電気での試合を終えていかがでしたか。

宮崎 あれだけ多くの方にお越しいただいて、まわりの方のおかげでここまで来られたんだと、改めてそう思いました。プレーを続けられという声もありましたが、来年の東京五輪のため、自分自身何かを変えなければいけない。まだ五輪出場メンバーは決まっていますが、僕のポジションは土井レミイ杏利選手(大崎電気)とかぶっているんですよ。僕はもともとセンターという指令塔の役割を担っていたんですが、サイドになって打ち方も違いますし、あとは走る、これがかかなり重要になってきます。

— 川上さんは東京五輪で「大輔さんのユニフォーム姿を見たい。それだけです」と



言っていました。その目標に向けて、決意のほどを聞かせてください。

宮崎 初めて五輪予選を戦ったのはアテネです。当時、日本はソウル五輪以来出ていなかったですね。球技としては男女ともに一番出られていないと思います。そのときからの思いというか、そのとき共に戦った選手たち、僕自身も五輪のコートに立ってみたい、松井先生とともにオリンピックになって、五輪を語りたいですね。

— ぜひ、勝ち取ってください。日体大だけでなく、全国の方がそう願っています。さて、学校法人日本体育大学は全国自治体といろいろなスポーツを通じた協定を結んでいます。ゲストハウスにも小学生らがよく来ているようです。今回の同窓会誌も全国に5万部ほど配布される予定です。そういう意味で、宮崎さん、全国の子どもたちにメッセージをお願いします。

宮崎 ひとつのことを一生懸命やってほしいと言いたいですね。僕は「がむしゃら」という言葉が好きで、父がよく言っていました。

— ハンドボールに限らず、今まで闘ってこられたのはそういうことですね。まっすぐ目標に向かって全力を尽くすということですね。来年の東京五輪のオリンピックを目指す宮崎さんに対して、松井監督からひと言をお願いします。

松井 ポジション的なことを言うと、大輔本来の司令塔と、現在のポジションであるサイドはまったくプレースタイルが違います。走りについては、もうこれ以上伸びるというのはないですから。あとはこれまでの経験でいかに走るかということでしょうね。

KOJI MATSUI PROFILE

神奈川県出身。昭和55年日本体育大学卒。日本体育大学副学長。男子ハンドボール部監督。本会副会長として同窓会活動に寄与している。



オリンピックということでは日体大はハードルが高いと思います。メダリストを多数輩出していますからメダルへの期待は大きいと思います。一方で我々のように五輪に出るためにいろいろ努力している者もおります。私は五輪に出られたことで、金メダルをもらえたのかなと、そんな思いがあります。

新生! 日体大ハンドボール部 OB、OGらの期待を胸に

— 今回の同窓会誌は、すべての卒業生の方が、冊子やホームページでご覧になることができますので、少しだけ同窓会の話させていただけます。ひとつは「つながろう! 深めよう! 我ら、日体人」と題するチラシです。ぜひホームページにアクセスして

つながってほしいと思います。

もう1点、今年の11月1日~3日に日体フェスティバルがありますが、11月2日に同窓会の民間・企業部門主催「民間・企業人全国大会」を開催します。現在、日体大卒業生の7割近くを占める企業人に集まっていただき、理事長からも励ましの言葉をいただき、様々な試みを行います。ぜひ、多くの卒業生の皆さんにホームページなどを通じて発信していきたいと思っています。そして、同窓会とのつながり、全国とのつながりに広がっていきたくています。最後に、全国の同窓の皆さんに一言をお願いします。

宮崎 諸先輩方に、「日体大は頑張っているな」と思ってもらえるように、ハンドボー

ルを通じてしっかり頑張りたいと思いますので引き続き応援をお願いします!

— 皆さんが頑張っている姿を我々同窓会は、どんどん発信していきたいと思えます。同窓会副会長の松井先生からもメッセージをお願いします。

松井 やはり日体大はスポーツが強くてはいけない。そのなかのひとつとしてハンドボール部があるわけですが、勝つことで同窓会の皆様の元気につながるのではないかと思います。今後も精進したいですね。

— ぜひ、今後も勝利に向けて挑み続けてください。本日はお忙しい中、ありがとうございました。



点がはっきりしたので、それは収穫ととらえ、秋とインカレにつなげられればと思います。

— 春季リーグに突入し、新チームで主将として一番苦労したことはどんなことですか。

川上 人数が多い中で、どう自分がやったらみんながついてきてくれるのかを考えました。同期のサポートのもと後輩には自分はこの一年、こういう形でやりたいということ伝え、それに協力してほしい旨を伝えたので、だいぶ協力的にやってくれています。

— 4年生の仲間が支えてくれるのは心強いですね。宮崎さんが再入学して、4年生を中心とした部員の皆さんのコミュニケーションはどのように回っていますか。

川上 自分から進んで声をかけるようにしています。練習中에서도察でもみんな仲が良いので話さないことがない。言いやすい環境をつくろうと自分は意識しました。上でも下でも思ったことが言えるように、小さい会話でもするように心がけています。

松井監督の現場復帰 大きな支えに

— 松井監督が復帰されて、チームの様子はいかがですか。

川上 以前は何で勝てないのか、ずーっと悩んでいました。松井先生が戻ってこられ、自分がやりたいことを理解していただき、チーム方針に一貫性を持ってやれていると思います。

— そんな松井監督とともに目指した、今回のリーグ戦の目標はどのあたりだったのですか。

川上 もちろん優勝です。全勝優勝を目指していましたが、チーム状態が悪いときに負けたときの想定もしていました。自分の中では、優勝に加え、課題探しも目標だったので、春季リーグは収穫があったと実感しています。

— 松井監督が日々のご指導で最も重視

されていることは、どのようなことでしょうか。

川上 まずは、ミスした後のことです。ミスした後に決められるとマイナス2点になる。そういうところをシビアにやっていかないと。そして速攻のチームなので、速攻をうまく活かそうと、さらに押すところと止めるところ、そこは、とても気にしていらっしゃいます。つまり試合の流れをつかめということですね。

有望な新人が加入 チーム力UPへ

— 3冠達成の富山県立氷見高校コンビ、安平光佑さんと窪田礼央さんなど1年生を迎え入れて、新チームはどのように進化していると思いますか。

川上 基本的には、4年生の安定したプレーが大事ですが、割と今回のリーグ戦はできていたのではないかと考えています。その上で、体力面だったり、流れで行き詰まったり、そうしたときに、光佑、礼央などの1年生や、2年生らが試合に入り、流れを変えたり、リセットしたりなど今回すごく助かりました。

— 春を振り返ると、総じて、波はあったものの一定の成果は収められたと思います。今後チームをどんな風につくっていくつもりですか。

川上 もっと一人ひとりの役割を確実に明確に持ちたいと思っています。4年生は、まず安定したプレーでスタートから出る。そこで、うまく歯車が合わなくなったら、1年生が補ったり、GK(ゴールキーパー)の中村光が当たらなくなったら、控えのキーパーがまた別の形で当てたり…というようなことが必要になると考えています。

春季リーグを振り返り 謙虚に分析

— 日体大がトップに抜け出すために、まずフィジカル面での強化ポイントを聞かせてください。

川上 自分たちは速攻&走るスタイルなので、そこは強化されていると思いますが当たり負け、当たり疲れしている点が気になります。そこで今年から食育トレーニングを始めたところ、以前に比べ、疲れ方の違いを感じたり、試合後の筋肉痛も減ったり、といった一定の成果がありました。

— メンタル面はいかがでしょう。

川上 メンタル強化は、自分たちの大きな課題です。例えば、今回の中央大戦の勝ち方(40対24の大勝)、そして、その翌日の国士館大戦(25対24の接戦)。自分は「怖いな」と危機感を持ちました。このまま入ったら国士館にやられるかも…アップから声をかけていたものの、初日ほどの緊張感がなくなり、案の定、前半は結構な差で負けていました。そういうモチベーションの保ち方はすごく課題だと思います。

攻めも守りも パターンを増やす

— これから、夏場のトレーニングを経て秋季リーグ戦、全日本インカレへと続きます。主将として、また、選手個人として、チャレンジしたいことはどんなことですか。

川上 攻めも守りも種類を増やすという点ですね。ディフェンスの形だったり、オフenseの種類だったり、パターンを増やしていきます。同じチームなのに別のチームとやっていると思われるぐらい、相手に応じて柔軟に変えられたら面白いと思います。

— 最後に、ハンドボールから少し離れますが教育実習では「先生」と呼ばれる立場になりました。新しい発見はありましたか。

川上 簡単だと思っていたことができない子。なぜこれができないのか…と思うことが多いですね。自分たちが当たり前でできたことをわかりやすくシンプルに教えることがすごく難しい。逆に、自分ができないことをできる生徒に対して指導することもあります。自分とみんなが違っても、わかりやすくシンプルに伝えること。今後、活かそうです。

— 教育実習でお疲れのところ、本日はどうもありがとうございました。またチームに戻ってご活躍ください。



SHOTA KAWAKAMI PROFILE

沖縄県出身。興南高校を経て、日本体育大学へ。現在、体育学部4年。男子ハンドボール部主将。

監督と選手を結ぶ主将としての自覚。 積極コミュニケーションで チーム一丸、秋のシーズンへ



教育実習で沖縄の母校に戻っていた、ハンドボール部主将の川上勝太さんに現地で詳しくお話を伺いました。

あの宮崎選手が復帰 部員ら心機一転

— はじめに、宮崎大輔さんの日体大再入学についてどんな印象をお持ちですか。

川上 大輔さんは私にとって小さいときから憧れの方でした。当初、選手として来られるのか、コーチとして来られるのかという思いもあり、みんな実感がわかなかったようです。練習に参加すると、若い部員らと同じ目線でお話していただき、とてもやりやすく、チームにうまく浸透していただいているなど感じました。

— 50人を超える男子部員がいるわけですが、春季リーグが始まり新4年生、新主将として、どのような決意をされたのでしょうか。

川上 春も、秋も、インカレも、すべて獲りにいきたいという気持ちはあったのですが、春は新チーム初めの実戦の機会だったので、絶対に悪いところ良いところが出てくるだろうと思っていました。もちろん優勝を狙ったのですが、課題も見つけられる機会ととらえていました。

立教大、筑波大に負けたとき、何が悪かったのか、どう悪かったのかなど、やるべき

日体大卒業生集合!
“新しい母校日体大を見に来ませんか?”

令和元年度重点事業

民間・企業人 全国大会開催

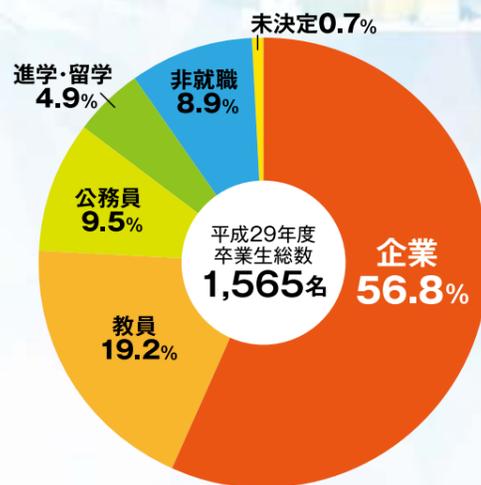
日体アラムナイ～民間・企業部門主催～

令和元年11月2日[土]開催 | 参加費無料

第53回日体フェスティバル開催期間中(令和元年11月1日[金]～3日[日])

ご存知でしたか?

日本体育大学は目まぐるしく変化し続ける社会に対応すべく、この5年間で、5学部9学科を擁する総合大学へと進化しました。大学が進化するともに卒業生も多様化しています。およそ20年程前までは教員を目指し、教育の道を進む学生が主流でした。しかし、現在は様々な業種、企業を選択する卒業生が増加傾向にあり、平成30年度に関しては卒業生(体育学部の場合)の約70%が一般企業に就職しています。進化する大学、多様化する学生の未来を見据えて同窓会もニーズに沿う必要があると考えています。なぜなら、同窓会は学



生・卒業生の支援をすることが目的からです。教員主体の同窓会活動から私たちは脱皮しなければなりません。卒業後の進路が多様化する昨今、選択肢の数が多いほど迷いが生じてしまう…そんな日体大生を支えるべく、日体アラムナイ「民間・企業部門」は、卒業生との交流を深め、その交流から学生や卒業生をサポートするOBOGネットワーク構築を目指しています。今回の異業種交流をきっかけに、ご自身の人脈づくりの場としても、是非ご参加ください。このイベントをきっかけに一人でも多くの学生、同窓生に私たちの思いが伝われば幸いです。11月2日(土)お待ちしております!

民間・企業人全国大会 開催概要

目的 同窓生のネットワーク構築と同窓会活動を通じた学生・卒業生支援
主催 日本体育大学同窓会(日体アラムナイ)民間・企業部門
日時 令和元年11月2日(土) 14:00～17:00
会場 日本体育大学 横浜・健志台キャンパス
参加費 無料

※大会終了後18:00より、懇親会開催(別途会費6,000円)
 ※懇親会場は「青葉台」駅近く。
 会場都合により先着50名様限定で実施します。

プログラム ※開始時間はおおよその予定です。

- 基調講演：14:00～
～日体企業人に期待するメッセージ(仮題)～
学校法人日本体育大学
理事長 松浪健四郎
- 情報交換会：15:30～
企業人同窓生PRタイム
「私が母校にできること」
日本体育大学同窓会より
「支部の活動事例紹介」



学校法人日本体育大学 理事長
松浪 健四郎

お問い合わせ

日本体育大学同窓会(民間・企業部門)
e-mail: nittai.alumni.e@gmail.com



お申し込みは今すぐ
QRコードから!

同窓生応援プロジェクト

同窓会HPで、 “あなたのお店” 紹介しませんか?

日本体育大学同窓会では、小売店や飲食店、店舗を営むオーナー(同窓生)さんを応援しています。ふらっと立ち寄ったお店のオーナーさんが実は同窓生だったら…。きっと昔話で盛り上がることまちがいない!是非、同窓生の皆さんに、あなたとのステキな出会いの場を紹介してください。お申し込みは簡単! 下記QRコードから登録依頼をクリックしていただき、登録フォームにご記入し送信してください。皆さまからのご連絡をお待ちしております。

店舗ナビページ <https://www.nittai-club.com/tenpo/>

HP掲載例



お申し込みはこちら



同窓会誌発行協力金について―御礼

「日體人」第4・6・7号にてお願いしました協力金につきまして、これまでに約4,000名の方々から

ご支援をいただきました。ここに皆様方の御協力に厚く御礼申し上げますとともに、

感謝の意を込め、お名前を記させていただきます。

4号協力金

東浦一裕、野中謙太、工藤元樹、一瀬美恵子、菊地亨、麻原恒太郎、小林整、加藤由紀子、増谷千幸、岩山悦朗、須藤宏、本間雅人、山本秀司、佐藤範彦、柿原順子、二宮寿美、前田秀尚、菅原康次、橋本雄司、白川部篤夫、堀本久明、河原俊明、石津光保、向井廣志、高田直昭、佐野昌行、金井茂夫、大淵惠美子、三柴博資、渡部晴行、春藤英徳、井上浩孝、大山裕一郎、坂本宏一、山内厚二、小菅由香、吉村辰明、福永敬彦、嘉原唱光、乾多慶士、桜庭清徳、月館智恵子、白竹寿弘、迫平勇二、下内義光、鎌田肇、岩崎三樹、大池彰一、永田重郎、西嶋利哉、幾永昌英、辻田康之、西川伸之、武藤千賀子、小嶋笙子、山貫克郎、畠山文雄、清水剛、川上宣彦、須藤宏、城戸啓一郎、田中健司、宮地善道、近藤伸明、近藤孝純、齋藤和子、大島小枝、佐藤一成、宮林恒雄、板屋清孝、藤崎泰助、石川博右、上田善一、老月守、柳田彰、柳田友浩、矢野哲夫、本江一夫、銭谷正義、佐伯洋子、飯田加代子、栗田正明、永楽英子、種村輝男、永田生江、中林達男、濱崎伸二郎、馬場勇、浅井大忠、柴田勝夫、中村めぐみ、福井不二男、村上みな子、田邊義雅、池田伸二、徳前啓人、横林智子、鈴木洋一、川口法正、関根貴博、青木倫、小田切和彦、横井内彰司、廣松公乃助、中村誠、楠正彦、村岸肇、山崎陸雄、須田悦正、田宮敬之助、鈴木洋一、村上英明、松本紘一、野田克弘、中村実、朝倉健、金子峰、川井忠彦、西豊光、中川恒雄、中川利成、今川薫、柴田榮希、近藤敦信、名古屋有美子、八木利正、三ヶ田紀夫、櫻瀬富美、佐野秀一、清川守弘、大橋庄市、本庄義治、田中國義、丸茂康子、月岡靖夫、小暮三恵、小椋佳代子、小林峰子、笹本勝義、采谷義秋、高濱正紀、中邨晃輔、矢山裕明、石川光男、花房房子、山本洋市、吉田正知、阪本勝彦、西村一信、廣島忠士、赤星秀年、森下浩、小澤正人、山口紘司、里義信、磯部賢次、池田修二、柳田勝利、香月輝一、林孝子、方井正隆、半澤庄多、工藤諒子、伊賀栄太、山内則季、依田中子、鈴木省工、榎戸康、止野正信、藤田一郎、福島沙織、中西一郎、岸本道昌、紺屋正雄、福江訓一、伊藤町子、伊藤芳明、近藤一真、白井洋之、福島弘、戸谷純代、川原康嗣、平田逸夫、鈴木農弘、藤倉讓次、中山憲史、永田しが子、島津侑、川村俊明、熊瀬潔、常木茂、松田弘、山本実、藤田光子、山本美佐子、市丸佳彦、平野隆一、大城武則、渡辺靖祐、今西博一、高橋範夫、細澤寛、谷川原宏一、山田聡樹、繁原修、樋口裕志、黒澤功、成富清武、田中稔、土田正行、井関滋夫、大家義浩、佐藤尚武、辻潤治、青木宏治、渡邊温子、小澤欽一、案野克彦、田中肇、田中晴美、江頭光男、吉村治高、稲生茂、山口光恵、澤井勝、茨木基良、串間平三郎、串間満子、野見山澄子、齋藤稔、片尾一美、上田智加子、村村郁夫、大石敏夫、秋山善政、錦戸俊平、森一正、池谷孝子、伊藤勇、中村隆夫、大野哲兒、中林厚生、永嶋龍次、中禮雅治、吉田邦子、北恵幸、神川尚彦、首藤昌迪、千村啓喜、桑原隆一、笹岡宣明、辻本吉伸、三上和郎、伊藤光男、池谷佳彦、佐藤澄恵、川村浩司、上成和子、福田大、竹川まゆみ、山本秀治、今泉尚人、金井極、平岡眞、吉野正和、岡安國雄、藤本俊、高田和男、関口一眞、榎野均、神蘭篤、内海善子、井口正幸、粟谷教、小柳正照、鈴木則行、杉沢政、谷村豊志、小林哲雄、井元文治、久本信子、西丸利一、吉田忠生、久喜則宏、坂井充、森川壽人、寺澤亜弥、舛巴照、福岡美文、三浦展廣、光下正康、橋詰淳、尾関晴俊、大石巧造、杉本芳和、川島久美子、御所脇篤人、二ノ宮泰則、柴野恒夫、三代洋三、志村信男、樋上朝子、樋上晃二、前東昭、石川博義、松井伸英、坂元正二郎、船橋真亜子、小泉直紀、宮本金作、眞如紀子、赤木玄、佐藤隼一、小谷麗子、田所伸一郎、

原川信、原田くみ、太田弘志、佐々木信広、松陰英人、鬼頭乾、今野靖政、梅村寿一、寺澤渉、鈴木敬子、土居生夫、大野隆夫、古野修一、長谷川雅清、中尾泰弘、松浪健四郎、木村政美、山上義明、竹内定雄、森豊夫、堀勤、勝村靖夫、村田和博、外園清規、堀川太一、許田重正、福田洋史、藤井新一、赤川堅蔵、大峯淳子、佐伯隆三、宇野峰子、渡辺紀子、久米昭徳、樋口龍之、宮原照彦、池本邦雄、新田薫、永井正、平野清、宇野由男、田中修、西亨子、松本弘二、鈴木興一、根来寛、藤田悦司、水江田久雄、新田賢一、平井博司、石川毅、玉置昌也、金子友祐、渡邊明美、末永金造、中田克身、赤星朋昭、奥田勇治、小林幹彦、白井徹男、鍛冶澤守、堀大孝、川中弘幸、須田清、大野芳樹、塩谷和雄、林義寛、田口七郎、井山充弘、大宮泉、大野井進治、野添哲美、瀬口俊光、水内義祐、鈴木照久、大谷直也、西田弘之、細田弘之、松田信、梅田尚良、平大雄脩、立岩京子、青木憲司、渡邊透、丹野寛、寺田義雄、谷浦隆、安仲絵美、宮田啓資、佐々木健一、長坂道男、鈴木満、阪田幸次、島雄道子、北原茂、高嶋章、先崎瞬、野間久仁彦、細淵晋一、土谷秀雄、土谷里子、小豆澤盾、小山隆人、福澤美恵子、石川壽、沖野英逸、小川達二、前多正彦、小山信一、有田司、養田俊彦、西川弘志、中野貴富、長井英子、長井忠道、柳本庸子、田中修、黒田次郎、宮田愛子、小泉政貴、竹原捷博、竹原千郷、金子唯親、荒川哲男、大久保義高、小原章、黒川勇雄、白井義典、庄司久男、山本清美、堀坂靖子、小林孝昭、村山美和、小滝純一、杉本祐二、大山隆生、杉若隆、大井喜曹子、田中一井、上大田浩、鈴木一也、阿部由貴子、平井千賀子、柴田耕、清水忠和、黒木瑠璃華、宮原慶子、菌田有司、有川久子、長谷川浩一、中津幸男、松田憲明、藤本剛、荒川洋一、川上照也、石井浩一、小須田良子、正文文雄、馬淵隆幸、西田正明、成塚誠司、阿部幸輔、久朗津義晃、坂本欣弥、山下眞里、荒井陸、木本恭嗣、浦田燐子、河合英子、小池春雄、鶴田和久、加藤弘、仁科清次、冨田俊美、加納武佳、寺井廣宣、嶋田レイ子、二宮恒夫、福田明美、前田浩司、高祖嘉秀、渡邊英典、勝野徹、廣田誠、中尾友彦、林田翔吉、平松携、橋詰忠明、大江靖子、瀬口一利、井手和洋、太田政義、鴨川泰治、田中啓之、西川千裕、中南桂太、西尾尚武、山田徹、松尾拓磨、山崎洋一、柏原幸生、渡辺和夫、井上夏実、田村正克、石坂次男、城野裕美、鈴木知佳、菅野良則、齋藤和子、川川浩子、原田悦代、金当国臣、長沢弘、高木信良、原田正之、大谷佳絵、吉岡成、小林勉、石川美奈子、羽成邦男、村井健、高野英之、成田道子、高橋和志、淺沼航平、大山象二郎、大西和雄、光岡博、畠中和樹、渡邊隆洋、平位秀敏、本多整、若杉鋼洋、大西修、小池一好、山崎均、林田克樹、安部耕司、辻寿子、相川聖、松田治廣、岡本憲和、明石正和、馬淵豊茂、星野百合子、飯田金一郎、徳永一芳、岡山忠博、松山祥子、八幡満夫、田坂健司、池端一真、梅田孟、萩原大士、矢野謙作、鈴木和子、坂田友記子、野口一英、今堀公夫、森静夫、城之園譚、藤岡祐三、梶田政昭、岡洋平、青木仁嗣、田中光、脇若綾、川西富喜子、赤石眞一、野村利光、三上和男、小野純由、宮成重文、三上剛、高橋裕子、大森宏樹、生澤正隆、酒井嘉幸、田邊浩二、岡田恒雄、松田元雄、中本厚生、齋藤隆、溝口要輔、前田香津美、金森清明、加藤弘恭、鈴木智子、宮川潤司、津下英子、関内健、笹岡由美、近山守、太田秀昭、花岡勉、谷本繁信、村居一也、宮崎雄三、中田典子、中西浩二、中沖克美、望月孝男、太田勝之、榎泰子、松藤義文、日高勝利、渡部俊夫、羽田岳文、安井清彦、佐藤允彦、山崎ありさ、中西順子、渡部治人、仲野元司、岩崎喬也、橋本祐伊知、茂木康道、土屋洋子、村上正治郎、毛利尊志、結城武則、濱田征男、大津留英二、

杉田泰弘、山之内修一、太田久人、小林清美、源場康広、戸田正明、伊勢谷和男、福永いつみ、鈴木裕也、三井幸夫、藤田康人、伊藤隆由、木下江利子、中村旗四士、田野倉翔太、朝倉工、山本孝昭、金子美智子、小路正和、貞島瑞穂、藤原啓子、高木紀明、福島誠・由美子、島根輝治、小早川ゆり、岸本善仁、柳岡政一、高橋俊介、肥田良穂、光川敏郎、松山光志、井原国男、野口貴史、三宅照子、石橋悦子、島袋光枝、多胡恒治、柿山伸也、水野和明、島田由明、二田兼男、石田純子、河野安雄、岩本晃司、堀尾雅明、河村智可、河村サダエ、河村俊彦、城戸眞勝、山本修平、岩崎修、向本一行、湯浅光範、土岐真弓、深澤健、笹谷淑子、清水正昭、横道孝輝、小島益男、田淵元雄、野口哲司、内藤八千代、江口朝永、寺田房純、堀畑裕也、野中庸旦、原巖、岬一夫、榎本豊、松永美成、在田眞亮、藤原良彦、藤井利恵、中村文子、藤本修巳、三浦洋三、栗田健藏、長澤友友、藤岡敬二郎、柴田善明、民安佳克、松浦初江、小尾宏子、中村恵、鈴木智大、荒木武人、井本恭人、金光政秀、平野光家、長嶋光治、荒木和恵、太田仁美、木野村知也、山崎博明、村中宏行、藤本隆、鈴木淳一、上村瑞穂、佐藤喜和子、二宮寿美、宮澤弘美、木下克教、永井利明、鈴木スメ子、村上南海江、舎川朋弘、安部将希、福元修三、齋藤嘉英、泉純一郎、赤星秀子、岸澤忠司、大石晋、山本信男、賀久ハル子、久保英行、久保和正、新井耕奈子、神岡寿史、丸山直彦、植原昌子、山本松枝、細田紀一、辻清也、鈴間孝造、金崎三恵子、常深進次郎、奥村一宏、伊藤三重子、矢野和司、板山勝城、西尾敦、中嶋輝雄、井戸英樹、井戸柳子、明石六郎、亀田栄里佳、井原涉、奥谷彰男、道園久志、加瀬弘樹、田中克秀、仲野英司、三宅啓子、長田邦俊、中根一幸、村上弘、今井梢、松本靖史、荘司昭夫、加藤隆保、皆川賢太郎、釜本浩明、村上祐二、鶴見ひとみ、日下部みどり、村松英子、大野幸恵、藤澤琴日、滝川翔、ジョンソングジュリアン、小田川皓一、村越みどり、内村和久、石飛誠治、濱田初幸、埴生浩二、小野英樹、西方昌美、中井重樹、横山ひとみ、小島勇夫、郷田翔平、千綿勝彦、川上寿恵、鍵市勝秀、加藤彰一、山口久夫、奥野美幸、三宅豊、大石健二、芦田恭子、山田信、田原憲二、大内哲彦、石津光保、松本富子、米山桂三、石井千代美、由井正巳、高岡昭、重岡隆、上村桂司、東隆正、亀田隆一、中村昭男、山根洋壮、吉田一夫、大場妃恵、藤原雄太、佐藤大計、八戸秀男、上野陽子、玉置康博、鎌田義人、藤末直人、桜間幸次、中嶋雅己、柴田洋介、黒川秀雄、高橋秀和、益山厚、奥田雄一、山室晶司、川島幸秀、川島泉、河鍋菊、石井宣明、石井史絵、森末耕太郎、山田賢一、渡木利夫、岡隆紀、圓尾昌博、崎野次雄、日野博、冨田平太郎、高坂美恵子、松浦義昌、野田喜司郎、松本淑子、加藤純弥、越智直治、西田つばさ、武藤紀久、阿部清、川川信昭、石田直子、小林昌彦、山本恒夫、長谷川祥一、吉梅龍、大岩賢次、喜多絹一、永山茂、平塚昌利、井上雅也、下佐裕、工藤英世、中辻誠、松本軍征、榎本眞智子、五十嵐裕和、中山圭三、伊藤あゆみ、渡邊大貴、安部和美、渡辺悟、堀口貴生、小林宏、渡邊洋子、小林直也、佐田一夫、長束保江、青山三智子、栢野ひかる、伊倉恒信、高松守一、宮地秀幸、折本浩一、曾根幹雄、滝尾憲哉、河合誠、高田佳朗、乾裕子、光成芳恵、後藤克幸、宮本紀夫、渋谷隆伺、斉藤幸枝、多胡英子、冨田銀仁、井手口孝、今野睦夫、吉澤仁、瀧澤瑞智、今野信男、佐々木魁士、黒羽晶子、北村智子、久米直、野田康雄、積田麗子、土井雷夫、中村智司、松尾龍美、橋本正敏、松永忠史、

木村大飛、渡部光昭、渡部久美子、梅田修二、藤江和雄、佐古武彦、中尾隆、今野賢吾、荒井強平、中啓祐、桂山拓、渡辺聡、三宅香、砂原松己、川副研二、永瀬朋彦、辻孝博、山田正夫、森田保一、澁谷憲昭、成田昭紀、平田徹、平田武、松原鉄司、八木繁喜、山村和恵、松尾恵一、越智敬一郎、室井正人、岡本進、小林靖史、松坂和芳、五島豊八朗、富吉和男、高瀬則光、鳥羽完司、能條剛、一瀬美恵子、橋本真理子、中木克明、田嶋浩紀、角田正三、松浦美貴子、中澤進、大神田康博、白石雅好、人見将司、半田広、阪木範子、和佐野健吾、瀬江山慎一、藤田謙治、藤田有子、前西義弘、齋藤善治、小野寺徹、田代恒順、野村忠信、井上将之、山本剛、吉田喜久治、吉田早苗、明石一雄、有坂精児、小島居春子、大久保瞳、有村孝志、熊谷晶子、井上寿一、東達郎、落合直人、堀川政子、藤井利恵、加藤俊也、轟キヌ、久保田雅人、穴戸靖雄・みどり、橋崎千恵子、山形良悦、福岡重信、甲斐藤昭、芝原佳子、小山洋行、山口深雪、野崎利栄、設楽善彦、西垣利男、星光子、勝俣敬史、竹内隆、小林光嘉、平佐和彦、五島三江、大野浩江、竹原勝矢、桑原豪、宮原一治、川本有美、花澤智子、大貫友彦、重森昇、後藤弥、田上和磨、高橋志帆、田口美樹子、池田章、倉勝彦、沖西直幸、吉川肇、清水武夫、小野澤清史、倉水英樹、桑原成美、釜瀧洋一、島田幸寺、山本秀幸、今村和彦、畑孝子、木村栄、稲田尚誠、木村菜将也、三木孝一、矢澤和江、住澤昭美、植田俊介、熊本宣博、加賀静枝、河崎和代、下和田翔平、西岡研司、今井芳治、栗田崇、服部暢和、松田幸史、山田佳世子、江良孝昭、森山雅子、小原舞、武田智史、安達安、宮本至、葛西彩、葛西大広、山田智久、牛島英樹、深津佳蓮、塚越富夫、高木美季、金田真代、安井繁男、前田久之、山田哲也、平野靖夫、中村義彦、橋本ひかり、又村秀、奥田純子、大澤弘一、柳下吾郎、傳刀正義、新宮克朗、井川ゆみ子、佐久間貞良、塩崎親安、塚田泰志、柴田鏡四郎、鈴木存、安藤彌爾、齋藤範夫、齋藤清内、瀧瀬正俊、仲谷龍太郎、齋藤秀樹、野田隆生、菊田隆、前田秀尚、岩沢文雄、青柳典美、朝井正敏、宮澤恒夫、梅木眞喜子、川端重義、和田信人、木村展大、阿部智、齋藤浩三、佐藤範彦、門脇永記、木下勝政、鈴木充、佐藤公美子、田口四郎、池田和彦、中瀬卓一、西丸聖志、逕真由、伊藤喜久治、田松隆、泊泰三、平野雅嗣、平山眞、高柳昭博、竹内徹、成田怜子、菅原福子、阿川孝司、吉田敦一、玉川裕哉、箕箸博、藪内ふじ江、細川智代、松野靖臣、奥田典之、田中宏子、森茂美、太田幸治、中田曜子、安部泰人、上田彰夫、寺辻啓介、関村幸子、山内一乗、倉岡克栄、安藤克弥、藤本務、の野豊、井戸智弘、北條清次郎、佐々木敏夫、平沼裕美、泰江寿英、八戸博子、北村礼子、田中みどり、保手演和益、木下智安、安達正隆、岩下由利子、近藤士、菅野敏子、本間重男、青木絹子、赤堀隆治、野田修、岡村克巳、宮崎直子、宮下孝、土屋もと子、才川力也、林亮典、中西隆英、穴戸進、北野元美、山玉茂展、野々山昭夫、尾西雅代、升屋文夫、市村徹、丹羽優介、山田夕紀子、安永郁司、田草川光男、林勇輔、山田克江、猪飼モト、寺尾恵美、富山良一、高橋弥江、池田孝之、宮川朋子、小島居春子、西田つばさ、笈健司、那須一仁、阿部和雄、井上克彦、大川隆樹、池田かすみ、桑名伸一郎、上田大、松岡由紀美、白鳥敬彦、前田亨介、近藤芳夫、日沼宏友、成田守、飛田知江美、小川智子、加藤生恵、福原成人、菅間孝弘、今井梢、柘植偉昭、西吉高、森口幸一、佐々木信広、阿南憲治、三上史世、齋藤正、福生義則、森田紘造、名塚幸弘、田村芳夫、藤田昭恵、伏見士郎、角田誠、安富博、田子千代、吉雷依子、阿部和雄、安藤慶子

6号協力金

白石さだよ、前田亨介、佐久間剛、森下浩、鈴木洋一、稲葉秀文、小林峰子、藤田一郎、田中健司、下笠綾子、山口久夫、冨田平太郎、冨田妙子、永田重郎、藤本務、玉井達明、中林達男、向本一行、小尾宏子、谷本和子、今野睦夫、吉澤仁、瀧澤瑞智、今野信男、佐々木魁士、山崎澄子、甲木武臣、藤井利恵、案野克彦、新井嘉壽美、新井節男、宮川潤司、徳前啓人、高坂美恵子、佐伯洋子、

内山貴之、大西和雄、埴生浩二、中村英登、木原勝之、岸野載子、岡田眞、津田美江子、近藤静也、志村信男、竹内功、桜庭清徳、山崎洋一、宮田啓資、中西隆彦、藤原照明、渡邊佳洋、小池一好、福江訓一、青木宏治、久朗津義晃、奥原洋子、落合直人、福永武昭、浦田燐子、小野寺修平、岩崎三樹、藤本浩、八木重光、金井茂夫、丸茂康子、小泉政貴、富吉和男、清本修、宇野峰子、内山富之、三宅啓子、齋藤嘉英、福原良弘、本正義治、福井哲也、吉田正知、山本秀治、松尾和恵、花房房子、廣谷滋、中沖克美、安井清彦、梅森雅広、奥田勇治、関孝志、大平雄輔、冨田俊実、嶋田レイ子、福井正幸、外越俊和、外越俊朗、松田美、毛江田久雄、小川将司、高梨昭、中島晴規、安部和美、坂下康政、野口一英、鈴木淳一、森一正、石原美紀子、渡辺靖祐、山田公子、田中喜久子、佐藤忠吉、工藤諒子、塩谷和雄、寺野昭夫、今泉尚人、西島利一、梅村寿一、栗田正明、関根繁、正文文雄、荒井秀子、齋藤民雄、中宮洋二、喜田勉、崎野次雄、佐野友治、柳川慎一、長谷川昌子、水島宏、長崎桂子、平野清、中川利成、上岡真一、山崎博明、藤岡敬二郎、栗本妙子、中山博道、赤羽博次郎、島田由明、柳田彰、吉田邦子、関谷博、鈴木照久、笹岡宣明、宍道泰玄、月館智恵子、吉岡成、宮保滋、柘植美之、横山正二、坂本正樹、羽田岳文、坂本兼博、松熊宏明、山本美佐子、牧野智幸、山本実、伊東定哉、柳田将也、三宅香、廣澤巡、赤坂英昭、渡邊増男、松朋房、清水剛、石田敏、角森邦彦、望月大和、和田一郎、曾我静男、山根杉雄、種村輝男、轟木彰人、青坂征弘、銭谷正義、東由喜子、堀田誠、常田和彦、大石巧造、大石敏夫、市川博章、大片惠美子、鈴木伸洋、瀬戸徳美、小泉直紀、溜美恵子、佐々木晶生、高本健、高本文夫、居駒永美、山田信、松下優子、吉永俊嗣、南雲寛樹、木原豊、柳下吾郎、谷口孝文、村越みどり、石渡元、江頭光男、池元啓朗、菅間茂久、泉勝幸、出射省一、齋藤貴之、藤野誉之、島袋晴美、道園久志、平松携、阪本金作、平岩東、岩田ゆき乃、中田典子、土谷秀雄、阪本勝彦、貝田裕昭、大野隆夫、仁谷秀夫、小川達二、草柳孝、佐藤文能、辻田康之、養田俊彦、野田隆生、嘉原唱光、三ヶ田紀夫、松田弘、井口正幸、小野紘二、平澤淳、青島信裕、西野健、中川恒雄、酒井美明、井上和久、竹本正雄、上野和明、結城武則、桑原隆一、五十嵐洋、矢野哲二、上成和子、安藤達二、松田博子、城戸啓一郎、吉川昭生、藤井義正、金津弘毅、牛島孝信、松枝政己、木俣正男、近藤伸明、村崎正司、落合正義、止野正信、下井浩司、福井不二男、西田高德、三原市郎、方井正隆、江藤秀彦、西豊光、山下淳、岡崎佑知子、中田和男、三橋孝行、板屋清孝、内村和久、樋上晃二、樋上朝子、成田道子、船江昭光、丸田利之、脇坂安隆、鈴木功、辻忠、村上哲夫、鎌田義人、鈴木則行、若原隆男、中本厚生、濱崎伸一郎、緒方弘子、高田賢三、中林厚生、山口直次、瀧廣正俊、遠藤雅己、鈴木農弘、関内順、佐橋豊、赤星秀年、浅倉貞喜、苦米克彦、千田屋一、河村サダエ、河村智可、香川八千代、河村俊彦、熱田俊介、中村鴻二、清水富美子、須藤宏、福岡重信、野田丞治、北口桂子、中禮雅治、大野道夫、多田順一、明比宏樹、伊藤三重子、佐藤公美子、津熊美智子、小池春雄、永山丈太郎、宮坂志子、川中弘幸、八木繁喜、真崎晶一、本多整、榎本恵子、渡部澤子、渡部晴行、堀川永蔵、山崎龍之、前東昭、田平一晔、辻寿子、因幡和昭、大久保貴宏、池浦孝、武藤紀久、半田忠、大野芳樹、松田治廣、井関滋夫、柴田洋介、中尾泰弘、北原茂、楠正彦、芦田良子、冨田銀仁、高谷文利、藤田喜穂、前村和義、田宮敬之助、平位秀敏、采谷義秋、井手口孝、畠中和樹、澤田和宏、嘉藤喜隆、入澤隆、春木淳二、柳瀬彰良、高橋輔輔、吉元和枝、村田由香里、原巖、向井廣志、野田克弘、栗原崇、栗原太郎、芦田恭子、奥谷彰男、玉城杏奈、江藤修三、川口澄男、中谷弘男、福田洋史、坂井宏安、岸澤忠司、有田司、野間英雄、三柴博資、赤川堅蔵、大峯淳子、篠宮剛、清原正雄、上川正明、宮崎忠治、土屋洋子、秋戸静子、重国修、大久保義高、武末悠輝、斉藤修平、高須美穂子、山貫克郎、岡本邦彦、田邊章、齊藤和子、星野百合子、山崎澄子、甲木武臣、藤井利恵、案野克彦、新井嘉壽美、村山美和、白石東夫、小川佳津子、松本弘二、三澤浩、

小澤正人、藤井晃正、松井貞子、柴田一則、藪崎洋、井元文治、竹内隆、高木紀明、萩原大士、石川壽、砂田恭明、加藤弘恭、里見美彦、沖村冷士、森静夫、岡野野原、原口富士夫、村上澗一、玉城良二、坪元、宮崎小代子、杉山雄平、市原俊平、千葉吟子、神川尚彦、辻本吉伸、堀大孝、柿谷博行、柴田久末、野添哲美、瀬口俊光、黒田武、黒川勇雄、大澤宏子、津下英子、梅田尚男、窪順二、有川久子、桜井通治、小嶋笙子、河鍋衛、福岡美文、松藤義文、松藤義文、賀久ハル子、高橋吾保、細井武治、清川守弘、杉本芳和、長谷川浩一、鈴木存、光下正康、山下賢実、石河菜、澤井勝、上田大、小堀俊子、岡村菜津子、藤嶋郁磨、光岡智二、高濱正紀、鬼頭乾、小林利直、野口哲司、岡村智之、林紀博、山口茂乃、桂邦雄、久保和正、城将樹、江口朝永、齋藤貴義、小早川ゆり、青島純夫、原田正之、村田義之、佐々木魁士、高嶋章、宇野耕二、白石俊次、釜本浩明、淺沼航平、今野靖政、山村和恵、小西益治、村山一郎、今野正明、村居一也、小島輝夫、藤川毅、土井敏正、三浦光雄、石井宣明、田口七郎、齋藤範夫、錦戸俊平、野田善昭、宮崎清美、久郷信義、山本信男、太田秀昭、嘉戸俊士、平井玲子、渡部治人、成田昭紀、伊藤典明、久本信子、大山象二郎、三上剛、山本洋市、竹原勝矢、仁多見貴、田村正克、山本猛、宮原照彦、倉岡克栄、柳田友治、竹川まゆみ、今西文武、渡邊哲也、仁科朋秀、黒川正子、赤星秀子、玉置昌也、塚田拓司、辻村仁郎、福島俊一、野村利光、竹谷満、宮本次朗、赤堀実、竹内義雄、松瀬浩、外川陽一、渡部光昭、渡部久美子、小餅谷幸博、諸星明彦、福田芳枝、佐藤博明、山本松枝、西原俊晴、新宮和彦、山村雄子、島津侑、吉松諄、前野講紀、鍛冶澤守、波多野壽、高島洋子、岬一夫、村田和博、泰謙二郎、渋谷隆伺、霜村孝、佐藤喜和子、鈴木賢二、小林浩司、中村啓隆、長谷川雅清、柿原英明、柿原順子、小野木史絵、龍山義文、寺下行磨、島田広幸、郡司嶋建、馬場勇、上原敬、小林宏、太下晃弘、橋元祐介、乙供大輔、山内一乗、高松清、松田満洲男、福家良行、中川正士、村上南海江、藤枝利子、大岩辰裕、月岡靖夫、西吉高、竹内勝雄、赤星朋昭、砂原松己、曾谷外茂雄、柴田俊章、北畑清誠、梶田政昭、作本敏彦、松尾利子、川内洋洋子、加賀静枝、菅崎友彦、都築和久、三島直己、宮原慶子、田嶋鏡四郎、徳永一芳、村上和弘、廣島忠士、工藤友記子、串間平三郎、苅部望、中山憲史、高橋辰弥、五島昌明、齋藤和子、仲村憲三、半澤庄多、有賀健、光成芳恵、上杉英文、大友裕樹、加藤彰一、曾根田幸代、林田茂、細内正彦、三代洋三、猿渡憲治、齋藤正信、山本洋子、小櫻孝司、黒木靖典、黒木豊昉、三浦展廣、平井敏夫、丹野寛、飯塚眞佐子、林貴昭、西川美代子、大野幸恵、林勝彦、片尾一美、川崎芳徳、具志堅幸司、小須田良子、佐藤鏡太郎、水野哲也、土屋正之、久野積誉、田中久年、藤山聖子、石井一彦、岡松眞明、松下昇平、石川敦士、田邊浩二、辻田明宏、小林力、久保田博三、開田守、前田淑子、前田学、近山守、楠清茂、八木哲大、磯部賢次、阿波加孝作、西垣利男、松山光志、高橋啓二・恵美子、福澤美恵子、青木憲由、高橋志朗、上田大信也、町田昶、田中修、吉田賢治・美苗、中村丈、菅原昇二、中岡忠、上川健士、菱沼香代子、佐藤澄恵、近藤芳夫、柿山伸也、兵郷博、沖西直幸、森淳、森恵美子、大内武彦、土居浩之、川津一芳、内藤正明、池田修二、五十嵐友和、田々容祐、有田一美、下内義行、大島小枝、山崎靖雄、山田夕紀子、西岡多英子、井上淳一、上平雅史、石井浩一、正木仁、吉田忠生、角田功、設楽紀美子、小路正和、田嶋浩紀、山崎陸雄、福地理、山野井進治、岩田保生、上田稔、荘司敏博、宮前仁、柿島誠一、太田好則、金城盛徳、神谷雄、多胡恒治、恵良友也、村松政枝、桑原千春、細田紀一、唐木敏行、重松和洋、中静宏行、藤崎泰助、田口美樹子、野原征一、野島利栄、末井健作、村中義次、村上正治郎、田上雅大、清水忠和、熊瀬潔、中川忠博、畔森叶子、竹下正人、秋峰良二、花岡勉、金野信男、朝倉工、井川晃治、星幸男、金子峰、若松壽子、松本紘一、原田照雄、桑島恵子、田中孝幸、中井重樹、

森重祐輔、前田香津美、後藤登、錦織昭十四、神箇篤、吉田茂之、亀田隆一、木村正、名嶋正信、西谷義廣、居原昌彦、樋口龍之、田中勝義、河野宗夫、大貫友彦、尾田政雄、鈴木洋一、中村隆夫、小澤喜久江、西田正明、石井道人、福本利幸、瀧澤康二、成富清武、内田勲、合志睦子、三田村ナルミ、大瀧章裕、小田切和彦、角崎朋博、阿部登記造、井上文彰、太田仁美、山岸秀規、大久保秀光、田中みどり、木幡博久、井田洋、小野木俊、望月幹子、藤川睦・忍、寺澤渉、光岡博、川川貴弘、佐山正、小滝紘一、柚木リツ子、上妻厚紹、宮下恒、ジョンソンジュリアン、武村俊昭、赤木京、緒方勇二、岡上國治、眞如紀子、大井喜曹子、沖野英逸、橋本祐伊知、河原俊明、幡野明弘、中原かつ、井上秀美、島袋光枝、木良蔵、岡田曹志、宮崎光昭、白石美絵、園田有司、福永いづみ、隅結城、カワイスム、木下勝政、野口貴史、望月眞代、小林幹彦、古塚幸次、大霜安裕、山下眞里、大沢興助、塚田進太郎、池田和男、八木郁子、船山久子、千村啓喜、飯塚幸子、佐々木信広、白椿正人、黒木瑠璃華、渡辺豊、千綿勝彦、荒木和謙、西上純一、金森靖二、大神田康博、後藤正之助、岡安國雄、児玉聡太、高橋聖司、中西順子、池田伸二、細野有希、今村貴久子、小木曾剛史、小林泰正、永田健治、永山航、入山幸子、仲田誠、佐納世志子、圓尾昌博、岡村克巳、森山佳代子、野田小樹紀、山本明彦、塩谷喜兵衛、田中敦司、櫻井知士、大槻宗平、大槻芳裕、杉村敏英、青山三智子、永井まどか、後藤克幸、首藤文子、瀧澤瑞記、堂故裕美、眞田澄恵、高田幸一、大江靖子、脇若綾、高祖嘉秀、花原勉、福田正子、光川敏郎、宗政徳道、黒田清志、上田彰夫、鳥住克子、西川弘志、宮原優太郎、林義寛、片山雄太、木村敏郎、山中義成、吉原隆徳、辻孟彦、朝井正敏、恒次栄作、源場康広、畠山文雄、吉田由美、茨木基良、篠笠護、大杉昌弘、大西修、大山裕一郎、柳井義通、井原渉、吉川静流、野中庸旦、赤塚辰郎、笹本勝義、矢野哲夫、上村崇、井川ゆみ子、下村健、角田幸代、池田和弘、菅月輝一、越水清、石川光男、加藤正二、小谷正、清水賢、森奈那子、鈴木三郎、宮本紀夫、坂東隆之、徳永達樹、垣下真吾、垣下大吾、中津川澄男、松浪健四郎、滝川翔、難波実香、青柳正隆、中根一幸、目黒乃章、藤江和雄、正木逸代、宮下淳、三浦うた子、栢沼行雄、塚田泰志、川口保孝、板坂兼裕、白石良寛、西嶋利哉、鶴見修治、荒川哲男、神谷敏治、八戸秀男、里義寛、大内哲彦、坂元耕作、曾我栄作、角杉美恵子、大山佳子、小林勉、岩本忠晴、瀝美修身、宇野由男、吉田和治、吉田信代、御所窪正義、川島久美子、の場久剛、米田哲也、長友大、山室晶司、山根洋壮、中村雅人、飯田久、島田直紀、長谷川綾、西山由美子、木村政美、大庭晃一、芳賀正雄、今野睦夫、竹原捷博、竹原千郷、岡田正信、内村春日、新羅正秀、太田勝之、大宅正恒、飯泉恵美子、越塚康成、松下唯夫・桂子、小谷敬子、榎戸康、石原亜紀、高藤誠、漆原律子、明村武信、柳洋、佐藤健太、野田修、乾裕之、溝口要輔、佃省三、佃雄太、塚田幸司、上野祥文、小松貴、宮腰太輔、藤崎和真、今村正博、榊原泰子、辻潤治、吉良恵介、箱山愛香、宮原一治、内藤八千代、加藤純弥、中野清治、高松幸子、栗山知香、北矢宗志、水野道二、榊原義弘、島貴智子、若林裕祐、柴田康、大岩賢次、村松英子、池松和彦、朝山次一、荻裕享、西盛大地、湯浅光範、清水裕三、鈴木忠一、川島徹也、重森昇、岩瀬拓也、黒川和岐、山口満、牧拓未、飯田圭一郎、相星大悟、立岩京子、井上朋子、寛健司、森末耕太郎、比嘉律、柳澤功、土岐真弓、住澤昭夫、渡辺和夫、河村金満、竹原英治、比嘉悟、大塚紘一、小枝兼悦、大嶋英将、益子敏之、齋藤好史、福岡博信、松尾佳子、松尾弘恵、下和田翔平、石津光保、三好廣子、小倉培夫、杉山絵美、堀出一夫、大野豊、古賀洋、安村積、西丸聖志、福士正敏、田中徹浩、丹田克己、須藤正巳、岡本邦浩、作田克克、金川尚子、寺尾恵美、竹内正雄、福島弘、中木克明、幾永昌英、佐野毅、庄司一也、玉谷昂介、藤田ひろ子、岡美秀、高瀬則光、辻井雄亮、福井摩知、渡辺信一、坂田祐三、上坂志賀子、甲斐孝則、郡山安紀子、岡本悌二、中村旗四士、石田徳郎、前田久之、太田拡志、伊澤俊彦、小松啓祐、藤澤琴日、桑原豪、平田徳保、櫻井義之介、小野寺徹、立澤慎、畑山芽緒、

松尾ふみか、久保島一裕、岩見幸夫、大宮司昭倫、井原国男、岡吉康代、西村浩二、福元由子、大柳孝紀、堀江直樹、和田竜一、増田順弘、近藤幸子、田川信昭、三上エツ子、平良将一、高橋浩、浅井俊雄、神谷美恵子、工藤敏光、北川智津子、神保幸次郎、杉山理恵、杉山一陽、成塚誠司、長坂光子、二田隆、小笠原眞理子、小野俊朗、小野千賀子、鈴木康夫、小野総志、山田正夫、平井徳子、岩波和雄、田代信義、北崎晴美、依田正輝、高森勇、石川梓央利、高橋和志、迫嘉邦、谷釜尋徳、山本暢三、丹羽優介、井尻亜希子、渡部俊夫、村上克也、榊原進哉、渡邊セツ子、加来國代、難波信昭、大平和幸、荒井強平、三田村一弘、菅間季弘、渡邊英典、豊田修治、野勢恵子、横史明、前田義文、小野俊、渡邊裕美、伊東正一、岡村亮子、岩下昭彦、戸田正明、水野英暢、宮本和子、関根貴博、森川壽人、入野末子、山崎愛子、田中雅之、岡崎雪華、森井康代、斎藤三五、根木谷信一、島畑奈緒子、伊東博、積田麗子、岡本進、中塚彰、土屋舞実、二田兼男、北島重和、山田龍一、吉梅龍、松崎文雄、奥村一宏、明石一雄、福永敬彦、島田雅州、澁谷憲昭、齋藤協一郎、木下尚、馬淵豊茂、大村貴臣、佐々木麻木、佐々木勇太、佐々木加奈、増元哲也、平井博司、森雅美、長井英子、長井忠道、松本幸、小林修平、伊勢幹彦、齋藤治、遠井学、山田充、林幸男、板津史明、渡辺紀子、上山良昭、小林慎弥、青木麻美、小橋川敏夫、西村寛久、宮本敬晴、川上寿恵、倉橋久雄、吉井和夫、永田しが子、荻野確郎、浜田良男、柳本重夫、眞島瑞穂、竹内博行、奈良眞太郎、柴田孝行、兵頭龍哉、森田淳悟、益川三逸、高橋俊一、奥平整、及川哲、今井梢、前村保、由井正巳、石原弘太、朽木泰博、本島由香里、渡辺正光、安達正隆、下山秀子、山崎正直、岩谷元紀、伊月友里恵、平塚昌利、千葉大将、堀川太一、橋本新吾、升屋文夫、小森幸哉、藤田吉隆、須原正行、金光政秀、金崎三恵子、森幸久、小木野東、佐藤範彦、橋本ひかり、植田俊介、藤田浩道、米山英津子、佐野秀一、石川僚悠、澤田佳代子、江良孝昭、今井芳治、赤石眞一、吉武利昭、佐藤賢司、金子佳幸、石井純子、前滂勲、鈴木一、佐倉弘之甫、信田満、徳増弘二、宍戸靖雄、餅田茂、古田福雄、酒井治、熊谷瑛里、三次トキ子、清水健司、林幹雄、山田克江、松永六十四、尾崎宗弘、出口和也、中嶋雅己、織田信久、下拂豊志、露木睦、廣瀬久、淺沼航平、澤田政彦、齋藤好史、高橋俊一、高嶋章、中澤進、伊藤聡、井原国男、井上秀美、永田生江、永田健治、越智陽水、榎本奈扇、青木知子、奥田勇治、岡安國雄、下釜綾子、河合英雄、河野大助、花房房子、賀久ハル子、角崎敏彦、梶田政昭、丸山優、岩崎三樹、吉岡成、吉田邦子、吉本茂展、錦戸俊平、栗原季、栗原昌子、桑谷聡敏、月留智恵子、兼平賢一郎、原川信、工藤忍、荒木良輔、高橋正行、今野睦夫、佐伯陵子、細井徳次郎、坂理泰幸、山元みどり、山口久夫、山村千宮、山村登、山田智己、山内信之、山本雅弘、山本芳昭、山崎公平、若原隆男、酒井美明、諸星明彦、小餅谷幸博、松永亮、松尾龍美、松尾礼子、松本公一、森下孝生、深澤英雄、真木崇、須藤宏、清水建治、石邑八重子、川原康嗣、前垣内諭、前野弘行、曾我石洋子、大冢義浩、大西修、大内武彦、瀧澤康二、谷釜了二、中沖英美、中山博道、中川浩子、中田典子、中尾泰弘、長井英子、長井忠道、辻寿子、坪元、田口恭平、田平一咲、渡辺靖祐、渡辺和夫、渡邊英典、土谷秀雄、島田由明、藤田一郎、徳前啓人、徳増秀隆、梅田尚男、迫平勇二、樋口龍之、平野和夫、米永源、本庄義治、木幡博久、柳下吾郎、柳沢徳枝、有馬弘、溜美恵子、林博之、鈴木孝、養田俊彦、武又香代子、高須美穂子、高木梨恵、阿部俊文、伊藤昌典、井上淳一、井上和久、稲田昭典、羽成邦男、奥出清江、横手咲枝、荻原大士、加藤直浩、角井寿光、丸田豊司、岸明男、亀岡正博、亀田文男、吉澤猛、宮尾保雄、許田重正、玉川裕哉、金野信男、金井茂夫、栗田崇、結城武則、古野修一、光下正康、工藤友記子、高橋志朗、黒江英樹、佐藤謙太郎、佐々木章文、三次トキ子、三田英郎、山崎末義、山田夕紀子、山本修平、山本猛、宍戸靖雄、篠原静雄、柴田俊子、山本勝夫、酒井嘉幸、小菅由香、小林伸一、上山智也、埴岡俊一、新田賢一、

足立聖弥、中村英登、竹下正人、志村信男、大石巧道、小池春雄、佐久間剛、河合英子、向井廣志、山田克江、佐藤文能、中村誠、加納武佳、廣島忠士、浅野慎之介、野々山昭夫、杉崎勝之、寺島清蔵、阿久根英昭、阿南憲治、安井清彦、安田敏弘、福沢万里子、茨木基良、永田重郎、永嶋龍次、岡田光司、加藤弘恭、河合幸恵、花澤功、釜本浩明、乾裕子、宮地善道、近藤数信、原田夏樹、佐野友治、斎藤和子、阪本勝彦、山本洋市、市川善章、市川博章、志智貴美子、秋山邦彦、渋谷隆伺、小泉政貴、小島勇夫、新井嘉壽美、森静夫、森下浩、瀬戸徳美、成田昭紀、成田道子、清川守弘、生澤正隆、西村一信、西島利一、斉藤修平、前田真、村岸肇、大久保義高、大津文治、竹本正雄、中西一郎、中川利成、田宮敬之助、田原憲二、土居浩之、藤原良彦、二田隆、福井不二男、福嶋美文、方井正隆、本江一夫、毛江田久雄、餅田茂、柳洋、林武美、廣谷滋、齋藤治、芦田良子、安部和美、伊藤正規、依田京子、井元文治、井上勝英、井尻亜希子、羽田岳文、益田財治、榎本恵子、園田有司、遠藤忠、奥原澤子、奥田雄一、加藤純弥、海老口明、苅部望、久朗津義男、宮崎直子、宮澤弘美、居駒永美、橋本昇、近山守、金森幸志、熊野忠敬、桑原綾子、桑原英雄、桑原柱立、向本一行、江頭光男、荒井学、香川八千代、高木稔榮、黒川勇雄、佐伯洋子、細田昇、山下眞里、山貫克郎、松本亨子、上妻厚紹、山田耕二、種村輝男、小松孝史、小須田良子、小谷麗子、小林直樹、小林峰子、小林直也、小澤正人、松岡伸幸、松尾生也、松本健治、松本弘二、松野靖臣、上杉英文、城戸啓一郎、菅原福子、西谷義廣、青木宏治、石川健二、赤星秀年、村上宣彦、川上涼太郎、泉博文、前田香津美、村上克也、村上正治郎、大嶋英将、大井喜曹子、大平雄脩、池永武昭、池元啓朗、池崎諭、竹川まゆみ、中宮洋二、中村隆夫、中田曜子、中體雅治、仲田芳晃、長谷川陽一、長門和治、柘植美之、辻潤治、辻有富、田中喜久子、田中敦司、渡邊宏禎、塘田昭記、藤岡敬二郎、内山貴之、日比生司、畑本真吾、八代和男、半田忠、樋口裕志、武田和彦、福士正敏、福島沙織、平林元紀、片瀬徹、北島重和、明貝繁、木村光江、木村正、野口一英、野崎英幸、鈴木敬子、鈴木存、露木睦、廣瀬久、淺沼航平、澤田政彦、齋藤好史、高橋俊一、高嶋章、中澤進、伊藤聡、井原国男、井上秀美、永田生江、永田健治、越智陽水、榎本奈扇、青木知子、奥田勇治、岡安國雄、下釜綾子、河合英雄、河野大助、花房房子、賀久ハル子、角崎敏彦、梶田政昭、丸山優、岩崎三樹、吉岡成、吉田邦子、吉本茂展、錦戸俊平、栗原季、栗原昌子、桑谷聡敏、月留智恵子、兼平賢一郎、原川信、工藤忍、荒木良輔、高橋正行、今野睦夫、佐伯陵子、細井徳次郎、坂理泰幸、山元みどり、山口久夫、山村千宮、山村登、山田智己、山内信之、山本雅弘、山本芳昭、山崎公平、若原隆男、酒井美明、諸星明彦、小餅谷幸博、松永亮、松尾龍美、松尾礼子、松本公一、森下孝生、深澤英雄、真木崇、須藤宏、清水建治、石邑八重子、川原康嗣、前垣内諭、前野弘行、曾我石洋子、大冢義浩、大西修、大内武彦、瀧澤康二、谷釜了二、中沖英美、中山博道、中川浩子、中田典子、中尾泰弘、長井英子、長井忠道、辻寿子、坪元、田口恭平、田平一咲、渡辺靖祐、渡辺和夫、渡邊英典、土谷秀雄、島田由明、藤田一郎、徳前啓人、徳増秀隆、梅田尚男、迫平勇二、樋口龍之、平野和夫、米永源、本庄義治、木幡博久、柳下吾郎、柳沢徳枝、有馬弘、溜美恵子、林博之、鈴木孝、養田俊彦、武又香代子、高須美穂子、高木梨恵、阿部俊文、伊藤昌典、井上淳一、井上和久、稲田昭典、羽成邦男、奥出清江、横手咲枝、荻原大士、加藤直浩、角井寿光、丸田豊司、岸明男、亀岡正博、亀田文男、吉澤猛、宮尾保雄、許田重正、玉川裕哉、金野信男、金井茂夫、栗田崇、結城武則、古野修一、光下正康、工藤友記子、高橋志朗、黒江英樹、佐藤謙太郎、佐々木章文、三次トキ子、三田英郎、山崎末義、山田夕紀子、山本修平、山本猛、宍戸靖雄、篠原静雄、柴田俊子、山本勝夫、酒井嘉幸、小菅由香、小林伸一、上山智也、埴岡俊一、新田賢一、

菅野輝史、瀬口俊光、成富清武、清水渉、西吉高、西丸聖志、青柳徹、石田一貴、石田毅、赤川堅蔵、赤堀実、千葉吟子、川口巧、川村俊明、前東昭、荘司敏博、村越藍子、村瀬直久、田好則、大久保隆、大野道之、大林高春、山口和子、竹内功、中山和子、中川忠博、中村旗四士、中田あい子、中田次夫、中島稔、中林光子、町田康男、長島久、田川博子、田窪徹、田中規王、渡邊哲也、渡邊温子、土肥怜子、藤崎泰助、藤枝曜子、洞口善幸、内田勲、柏木悠、飯田文男、武富千歳、風間英一、望月大和、堀大孝、堀川政子、堀田明孝、麻原恒太郎、末安真次、木下昌次郎、木村政美、野宮加代子、野添哲美、柳田彰、柳田友治、鈴木淳一、鈴木伸洋、鈴木則行、恵良友也、菅間準三、船山久子、鐵口蓮、高橋博紀、高倉陽一、根木谷信一、常深進次郎、川崎芳徳、大石利夫、大野芳樹、土田正行、片尾一美、伊藤朝一、井川ゆみ子、一戸利治、宇野由男、白井一正、益山厚、榎戸康、横山武史、岡崎佐知子、岡本邦彦、荻原まりな、河村俊彦、河村サダエ、柿島誠一、鎌田義人、関根繁、関内瑛、吉村辰明、吉田由美、吉澤蘭、久保田雅人、宮永翔平、川口潤司、宮本金作、牛島英樹、玉谷昂介、玉置昌也、金子峰、金森清明、月岡靖夫、鍵市勝秀、後藤初恵、光川敏郎、恒次光輝、高橋喬、高橋博則、今野靖政、坂元耕作、作本敏彦、笹田夏実、三橋孝行、三宅香、山田信、山本秀治、篠原重義、酒井治、出射省一、小森哲、小柳正照、庄司睦子、松本満洲男、松本英昭、松本亨子、上妻厚紹、新宮和彦、秦和彦、水野道二、杉浦真由海、杉浦正和、杉村富雄、杉本芳和、菅間季弘、清本修、西豊光、西川弘志、赤尾信行、川口信明、川口保孝、倉岡克栄、太田政義、大友聡昭、大山象二郎、大西和雄、大霜安裕、谷村豊志、谷本和子、竹原捷博、竹原千郷、中山純治、中尾隆、中澤才幸、塚田拓司、田中修、渡邊良江、湯上幸代、藤井澄、藤江和雄、内村和久、日向完、日野喜美子、柳瀬彰良、有田浩、立野晴好、齋藤和子、横野均、高濱正紀、伊藤義人、井上雅晴、井川晃治、宇佐美大作、宇野亮、白井義典、奥村一宏、奥谷彰男、下井浩司、加藤信二、嘉戸俊士、花岡勉、岩波和雄、久本信子、栗村昭雄、小林貴子、光成芳恵、今井一三、今関翼、今文夫、佐藤喜和子、佐藤尚武、小田切和彦、小林慎弥、小林光嘉、上川正明、上大田浩、西森源太、前野謙紀、大内哲彦、長坂道男、本田宗洋、岬一夫、山崎澄子、千村啓喜、篠宮剛、山田泰史、星はるか、森田明彦、木下勝政、小川清美、眞田澄恵、立岩京子、山口紘司、福島弘、土門敦、新田公代、山根杉雄、野中謙太、千綿勝彦、石井清海、西野健、川井忠彦、白川顕治、大片恵美子、松口鈴子、豊田修治、平井博司、平澤淳、服部あい、草野勇、生田真、阿部登記造、安田詢恵、磯部賢次、宇野峰子、永田袿季、岡田典政、外越俊和、鎌仲正寿、宮原慶子、桑原豪、原桂一、五島三江、五味政夫、佐藤公美子、佐藤澄恵、砂原松己、坂田祐三、山本俊樹、止野正信、赤星朋昭、竹園雅一、中西浩二、中田知邦、田島浩紀、奈良井宏美、福岡康二、望月幹子、鈴木和子、柳井義通、田上義明、鈴木洋一、早川真澄、又村秀、堤浩利、田口孝男、織田信久、高野文利、石井明美、桃崎昭二、藤田文男、小松幸円、市村隆雄、山内則李、三浦展廣、末吉敏子、友兼尚也、水野和明、半澤庄多、石田真澄、辻清也、細川文、渡邊セツ子、圓尾昌博、高橋範夫、中嶋健己、池村幸輔、渡部光昭、藤元久美子、平野正夫、江口朝永、藤山聖子、大見学、大見翔、中村幸司、土井敏正、村山一郎、中野清治、吉田敦一、田畑聡、松村允子、菊池毅彦、原田正之、佐藤智征、藤田吉隆、霜村孝、佐藤優美、野中庸旦、今西郁瑠、福井摩知、杉山一陽、島袋光枝、

杉山理恵、杉山希高、足立篤美、北山隆、今西優美、外園清視、米川尚晃、小川都々里、辻孝博、佐々木晶生、田中久年、高橋良典、谷口律生、倉岡正男、五島昌明、平松学、外川陽一、中林達男、市川昭子、菅原康、田代将平、平井敏夫、野沢秀平、渡邊幸治、島田広幸、森田良典、尾野嵩、大野典子、松浪健四郎、石橋博子、山本修、坂井千博、青島純夫、大柳孝紀、の場久剛、朝倉総之助、竹山耕平、星瑞枝、橋本省吾、岩崎勝寿、石原美紀子、太田久人、西岡英明、柴田洋介、石河菜、武藤千賀子、三宅啓子、小田翼、岡山忠博、野間久仁彦、星野百合子、多辺田正樹、坂井道子、坂垣徳明、伊藤三重子、二宮恒夫、加賀静枝、汐浦由佳、井上雅也、友松信之、鈴木農弘、佐倉弘之甫、宮良年史之、宮本紀夫、石井一彦、沖口誠、下和田翔平、仲谷龍太郎、溝口文子、松本義博、吉田和久、戸田幹子、今井将、荒川洋一、川口智之、幾永昌英、村上和弘、藤井あや子、江口正信、三柴博資、深谷精一、山崎愛子、越智健治、迎里卓、堀江昭美、今和泉省蔵、奥卓志、抜井弘子、三引義晴、中本厚生、菅野良則、文原由裕、田中武彦、黒木瑠璃華、井上珠江、高野豊、金崎康矩、三上剛、高橋政敏、神川尚彦、宅間信夫、小嶋啓道、前多正彦、中村昭男、白井秀尚、千鹿野凌、島田直紀、甲斐義也、三嶋孝彰、八木繁喜、下内義光、正木逸代、山本明彦、ジョンソンジュリアン、宍道美穂、渡邊豊、小堀俊夫、小松實、田口義彦、藤田浩道、松本富子、山本健太、林和彦、錦織昭十四、栗田正明、吉田和治、藤原三津男、桜井通治、花田千佳、樋幹生、齋藤範夫、中静宏行、秋戸静子、溝口貴之、後藤正之助、伊賀瀬健、赤羽祐次郎、和沢靖曉、後藤克幸、北原茂、井手口孝、米丸浩文、山田知子、荒木和恵、甲斐孝則、中尾友彦、金子美智子、太田拡志、首藤文子、明石一雄、佐藤公美、大久保翔平、重川敬三、喜島浩介、出口伯正、細見広太、御所窪正義、伊藤シズ子、梅村寿一、重森昇、齋藤稔、田中健司、奥村亮子、戸田正明、藤嶋郁磨、町野道晶、渡辺岳也、川村浩司、祝弘川、仁谷秀夫、荒井強平、田川信昭、松井邦幸、早川川ゆり、石井宜明、長村成子、宮原照彦、北里暁子、曾我栄作、村山美和、駒沢悦美、田中繁蔵、長崎桂子、塔尾武夫、久郷信義、篠原貞二、山本美智恵、宮地智、岡崎雪華、櫻井信行、川口雅也、正木文雄、松本康明、川山雄太、村馬礼、栗山智彦、高橋容子、村中宏行、國武潤一、上原和馬、春藤英徳、中山憲史、青木崇、鈴木大悟、齋藤潤、高田佳朗、原巖、小川土雄、中村眞治、角田功、前田久之、渡辺正光、松本文弘、中村欽哉、高橋淳子、勝川稔、浦田志保、辻鎮雄、中田克身、岡田敦、堀川太一、大野豊、吉川眞實、小木曾剛史、北村聡、本山洋子、伊勢幹彦、城戸眞勝、竹之内徹、板橋繁、山本洋子、菊池ヤエ子、上田剛史、横田茂則、藤井裕二、松本健司、中村正仁、堀勇、松盛寿子、渡辺紀子、田修二、秋山定之、宮本一輝、高附安仁、木下智宏、赤星秀子、丸山寛、堀田誠、岡村克巳、佐藤聖仁、秋山桐葉、小暮三恵、藤井浩一、奥静子、宮本由紀子、石濱昌子、石濱昇、栗田淳子、五味智香子、藤田桂子、山本恒夫、宇根昌範、中山沙世子、梅田修二、川島章男、大槻芳光、大槻宗平、佐藤敦子、佐藤洋、土屋知子、今村よし恵、岡田眞、三浦うた子、横史明、松本幸、福田和子、田中稔、八戸秀男、塚田泰志、太田徹、黒澤功、種村裕康、牛島考信、永洌信義、津下英子、中島晴規、本間誠章、服部融法、丸田利之、丸田ひかり、土田彩奈、朝倉弘幸、寺澤昌尊、近藤一真、植松初美、小野寺修平、佐々木信広、村井光夫、作田末義、作田ヒロ子、竹内義雄、上田彰夫、森一正、

埴山勇吉、種山保司、鬼川美佐子、森重祐輔、山田慎介、川添哲雄、林田克樹、目黒乃章、及川竜玄、平塚昌利、森邦俊、宮下淳、仁多見貴、三田村一弘、坂口允司、工藤哲也、渡邊宇一、水流洋一、井田洋、田中郁子、三原江美子、三原征臣、上田智加子、櫻井義之介、福原博、安藤慶子、大井和也、脇若綾、村岡貴子、竹原英治、佐野一彦、高木典男、秋山和広、小倉培夫、高田充、矢田部雅治、崎野次雄、石井楓、福田芳枝、中島あゆみ、井上将之、石井弥沙、金築健二、中村雅人、湯浅光範、畠山静香、岡村菜津子、井上卓、大石静恵、沖野英逸、福永いづみ、清水賢、畑孝子、大西伸弘、前田秀尚、隅結城、笠井貴史、近藤智昭、石田昌和、篠田和也、吉井和夫、藤原啓子、高嶋和彦、山内一乘、日浦泰志、石原正敏、保科澤、佐藤一成、松藤義文、島正敏、小川英美、脇坂安隆、高坂美恵子、藤井敬子、岡田正信、佐藤忠吉、宮崎忠治、伊藤光男、日下部みどり、土岐洋太、伊藤あゆみ、成塚誠司、白石浩一、小路正和、秋峰良二、山田佳世子、カワイスム、金子圭之介、木本恭嗣、竹内正雄、笹本勝義、吉武利昭、丸山舞田口七郎、久保岡諭司、松浦三喜男、木村博之、矢口雅章、林昌子、岸本英幸、松本淑子、佐藤聖子、升屋文夫、坂本真教、松永美成、清水剛、菊地英喜、大山裕一郎、村田由香里、高谷亮徳、大久保健司、川中弘幸、石飛誠治、市村春佳、桑原英昭、瀧澤瑞記、東根忠弘、龍山義文、天野博臣、本田正明、坂嶋厚、岡田ウメ、大岩賢次、加藤隆、稲垣貴子、渡邊信一、坂東隆之、高橋啓二、大村成人、岩下由利子、田内久富、福島俊一、松田元雄、石津光保、根深さゆり、菊地啓子、石井里美、春田典三、正木洋成、入山幸子、中田直子、石田仁、今西文武、糸谷政、里義信、佐藤恭子、飯田加代子、清水健司、石川謙一郎、大山佳子、福澤美恵子、山内健太郎、兵頭龍哉、前村眞次、武内弘行、白井徹男、犬飼豊、大飼了子、外山健一、鈴木康夫、伊藤君代、金谷勝弘、寺島賀寿子、片岡勝代、阿部由貴子、北中邦江、箕箸博、小林勉、山口光恵、御所脇篤人、伊藤守、佐藤博明、吉田彩、岸澤忠司、田中雅之、鈴木一美、乙部美咲、益子久、竹本勝利、古茶翔、熊谷瑛里、渡辺悟、小山信一郎、内山朋大、永山彩、内村春日、島一満、黒川和岐、大澤弘一、飯室治夫、由井正二、河面成行、新島隆光、坂本宏一、藤野克康、遠井学、富田平太郎、富田妙子、大澤優、下地哲、加藤隆保、山田靖彦、橋本祐伊知、多田順一、岡村久志、小尾宏子、永吉雄、成田裕一郎、山本眞二、井島忠和、及川哲、川上寿恵、佐々木敏夫、岩山なつき、清水宏明、谷川原宏一、荘司昭夫、大原雅広、藤原秀樹、宮田大輔、村瀬善正、近藤広和、岩田ゆき乃、浄土航、鈴木隆司、荒川昌紀、板坂兼裕、丹羽敦子、間屋口貴仁、山口直次、池田かすみ、小林幹彦、池松和彦、三浦秀行、畠山敏男、朝倉健、川崎俊彦、丸本和年、古川彰彦、森川彰久、下山秀子、金城バーニー、島田雅州、塩谷和雄、笠井弘昭、田中秀人、清水徹、中田恵介、新宅幸恵、高瀬則光、小嶋日出子、佐藤範彦、西田正明、小山洋行、丸山智大、佃陽子、村松政枝、酒井高志、今成彰人、漆原律子、赤木京、柿原順子、酒井弘子、河野健一、山内和則、中田秀人、細川祐哉、根路銘達也、森康敏、宮川朋子、加瀬弘樹、上田稔、鈴木照久、西田秀子、眞如紀子、岩谷元紀、池田亮介、餅原勉、下谷英克、三浦和也、二岡博、山田聡樹、野田隆生、後藤優子

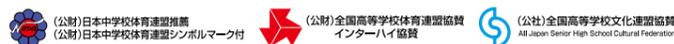
同窓会誌発行協力金のお願い

今回の「日體人」発行にあたり、同窓会活動と母校の近況をお知らせするとともに会員相互の親睦を図るため、会員に直接お届けすることとしました。つきましては、本誌以降の誌面充実に向けて、引き続き協力金(2,000円)を募りますので、ご協力をお願い申し上げます。同封の振込用紙に必要事項をご記入のうえ、通信欄に「卒業年(〇〇年3月卒業)」をお書きいただき、郵便局よりお振込くださるようお願いします。



未来に、エールを。

勉強、部活、友情、恋愛。学生生活は色々あって、カラフルだ。
でもだからこそ、誰も見たことのない色で、ワクワクするような未来が描けるんだ。私たちカンコー学生服は、そんな未来を担う学生が一番そばで、これからもエールを送り続けます。



菅公学生服株式会社



株式会社日体サービス

(学校法人日本体育大学 100%出資)

学生サポートデスク(日体サービス)は、日体グループのみなさんをサポートいたします。

学生サポートデスク(日本体育大学 東京・世田谷キャンパス内)の取扱品目一覧(抜粋)

旅行 国内外・各種旅行手配	格安航空券 国内・海外のお買い得満載!	ゼミ合宿・貸切バス サークル・グループ旅行
受験生の宿 交通の便が良い宿などご案内	アパート・マンション紹介	運転免許 通学・合宿もお得
メガネ・コンタクト 日体大限定クーポンも!!	オフィシャル名刺 日体大ロゴ入り名刺	資格取得学校 学生サポートデスクでお申込み頂くと特典あり
学生保険 万が一に安心のプランを	英会話・留学 予算などお気軽にご相談ください	宅配買取サービス お家で簡単!日体大優待も!

▶▶▶ 詳細なお問い合わせは

☐ TEL:03-6893-2221 ☐ FAX:03-5707-1130 ☐ E-mail:gakusei@support-dsk.jp
※営業時間 9:00~17:00(月~金) ※休業日 土・日・祝日

つながろう! 深めよう!

我ら、日體人 Nittai Alumni



日本体育大学同窓会公式ホームページ

同窓会について:会長挨拶、組織役員紹介、会則をご覧ください。
NEWS:NITTAI ALUMNI本部と母校の最新の情報をお届けしています。
NITTAI ALUMNI:さまざまな業界で活躍する同窓生を紹介しています。
NITTAI-JIN:日本体育大学同窓会誌『日體人』を最新号からバックナンバーまで閲覧できます。
Nittai TenpoNavi:同窓生が頑張る、店舗・小売店・飲食店などの情報を紹介しています。
ブロック別支部の情報をご確認ください。※そのほか、同窓生へのサービスや公式グッズについても紹介しています。今後もNEWコンテンツ制作中!

ホームページ



nittai-club.com/



同窓会の支部やブロックでつながろう!

日本体育大学同窓会は、全国47都道府県が支部やブロック単位で活動しています。
所属は、ご自身が活動している地域(実家・職場・自宅)のご希望の支部で登録可能です。
基本的に卒業時に登録されていた住所のあるブロック・支部で登録されております。

日本体育大学同窓会HP「Nittai Alumni」(www.nittai-club.com/)内の
NITTAI ALUMNI NETWORKでは、各支部の連絡先などを紹介しています。支部によっては
HPやFacebookなどで活動しておりますので、是非、アクセスしてください。

Facebook



facebook.com/NSSU.alumni.official



日体フェスティバルでホームカミングデーを毎年開催

同窓会では日本体育大学と協力して、日体フェスティバル中に「ホームカミングデー」として、
同窓生やそのご家族のみなさんに向け、さまざまなイベントを企画しています。
また、「県人会」ブースでは、郷土の名物産品なども低廉販売を行っています。
家族や仲間と懐かしい東京・世田谷キャンパス、横浜・健志台キャンパス(会場は隔年で移行)に行ってみよう!

キャリア支援 / 教育実習への支援

同窓会では、ネットワークを生かしたキャリア支援を行っています。
教職・公務員志望者への支援や民間・企業就職希望者への支援、実習校への巡回指導/事前事後指導など、
同窓会がバックアップしています。

その他のイベント

同窓会では、上記のイベントのほか、『東京2020オリンピック・パラリンピック』の開催に向け、
今後もさまざまなイベントを企画中です。同窓会公式HPやFacebook、Twitterなどで
随時お知らせさせていただきます。イベントに参加して、多くの同窓生とつながりましょう!

Twitter



twitter.com/nittai_alumni



設 置 校

～ひろがり続ける日體精神～

日本体育大学荏原高等学校



「学びて之を活かす」すなわち
高い人間力で社会に貢献する



HPはこちら



(PC版)

Basic Information

建学の精神・校訓	知・徳・体 求めて学び・耐えて鍛え・学びて 之を活かす
設立	1904(明治37)年
所在地	〒146-8588 東京都大田区池上8-26-1 TEL 03-3759-3291
URL	http://www.nittai-ebara.jp/

日本体育大学柏高等学校



「健康と信用は最高の宝」という建学の精神を
基に、「スポーツの盛んな進学校」を目指す



HPはこちら



(PC版)

Basic Information

建学の精神・校訓	健康と信用は最高の宝
設立	1960(昭和35)年
所在地	〒277-0008 千葉県柏市戸張944 TEL 04-7167-1301
URL	https://k-nittai.ed.jp/

日本体育大学桜華中学校



心と体を鍛え、知性を磨く



HPはこちら



(PC版)



(モバイル版)

Basic Information

建学の精神・校訓	健康・努力・敬愛
設立	1994(平成6)年
所在地	〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-5-1 TEL 042-391-4133
URL	http://www.ohka.ed.jp

日本体育大学桜華高等学校



女性が本来もつ資質と能力を
存分に伸ばす



HPはこちら



(PC版)



(モバイル版)

Basic Information

建学の精神・校訓	健康・努力・敬愛
設立	1958(昭和33)年
所在地	〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-5-1 TEL 042-391-4133
URL	http://www.ohka.ed.jp

浜松日体中学校



夢を叶え、輝く未来を切り拓く
浜松日体の中高一貫教育



HPはこちら



(PC版)

Basic Information

建学の精神・校訓	積志力行・清節篤行
設立	2002(平成14)年
所在地	〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山三丁目30-1 TEL 053-434-0632
URL	https://www.h-nittai.ed.jp/

浜松日体高等学校



最適な学びの環境で夢を叶える



HPはこちら



(PC版)

Basic Information

建学の精神・校訓	積志力行・清節篤行
設立	1962(昭和37)年
所在地	〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山三丁目30-1 TEL 053-434-0632
URL	https://www.h-nittai.ed.jp/

日本体育大学附属高等支援学校



自然に恵まれた地の利を活用して心躍る
体験を作り出し、豊かな人間性を育む



HPはこちら



(PC版)

Basic Information

建学の精神・校訓	體育富強之基、正しく、 明るく、仲良く
設立	2017(平成29)年
所在地	〒093-0045 北海道網走市大曲1-6-1 TEL 0152-67-9141
URL	http://s-nittai.ed.jp

日体幼稚園



健康で自信を持って
何事にも前向きに取り組む子どもへ



HPはこちら



(PC版)

Basic Information

教育理念	健康第一主義の教育を通して 豊かな人間性を形成する
設立	1955(昭和30)年
所在地	〒158-0081 東京都世田谷区深沢8-4-1 TEL 03-3701-4450
URL	http://www.nittai-kindergarten.ed.jp

日本体育大学医療専門学校



社会に奉仕できる医療人に



HPはこちら



(PC版)

Basic Information

建学の精神	生命の尊厳を自覚し、人間として 謙虚な心と仁愛の心をもった有為な 人材を多く輩出する。
設立	1973(昭和48)年
所在地	〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-2-7 TEL 03-5717-6161
URL	https://www.nittai-iryu.ac.jp/